

社会開発調査部

ギリシャ国

観光振興計画調査

ファイナル・レポート

本編

平成元年7月

国際協力事業団

社調一

J R

89-102

19876

JICA LIBRARY



1076482(7)

ギリシャ国

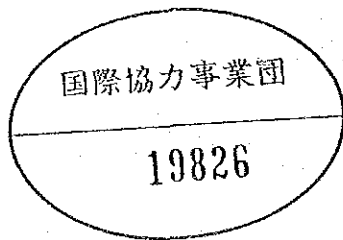
観光振興計画調査

ファイナル・レポート

本編

平成元年7月

国際協力事業団



序 文

日本国政府は、ギリシャ共和国政府の要請に基づき、同国の観光振興計画に係る開発調査を行うことを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施した。

当事業団は、1988年9月より1989年5月まで（株）アルメック 大津 攻氏を団長とし、同社及び（株）パシフィックコンサルタンツインターナショナル、（財）国際観光開発研究センターから構成される調査団を現地に派遣した。

調査団は、ギリシャ国政府関係者と協議を行うとともに、プロジェクト・サイト調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書完成の運びとなった。

本報告書が、本プロジェクトの推進に寄与するとともに、ひいては両国の友好親善の一層の発展に役立つことを願うものである。

最後に、本件調査に御協力とご支援をいただいた両国の関係者各位に対し、心より感謝の意を表するものである。

1989年7月

国際協力事業団

総裁 柳谷謙介

伝 達 状

平成元年7月

国際協力事業団

総裁 柳谷謙介 殿

今般、貴事業団より受託いたしました「ギリシャ国観光振興計画調査」最終報告書が完成のはこびとなりましたので、ここに提出いたします。

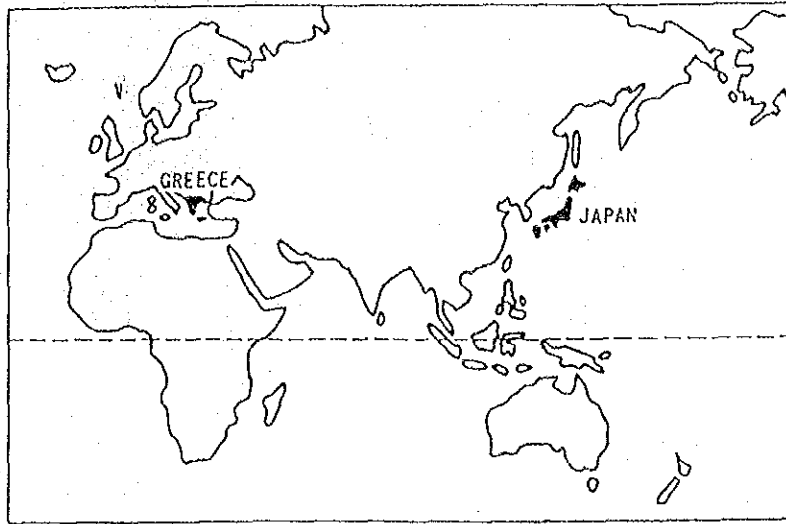
本調査報告書は、ギリシャ政府からの要請により、貴事業団より委託を受けました本調査団が、1988年9月から1989年7月にいたる間の調査の結果をとりまとめたものであります。

大津攻を団長とする本調査団は、ギリシャ国における現地調査や関係省庁および民間団体との協議をはじめ、国内における各種マーケット調査や分析・検討を基に、1992年を目標とするギリシャ観光振興の方策を提案いたしました。本調査結果がギリシャにおける将来の観光振興の一助となることを祈念する次第であります。

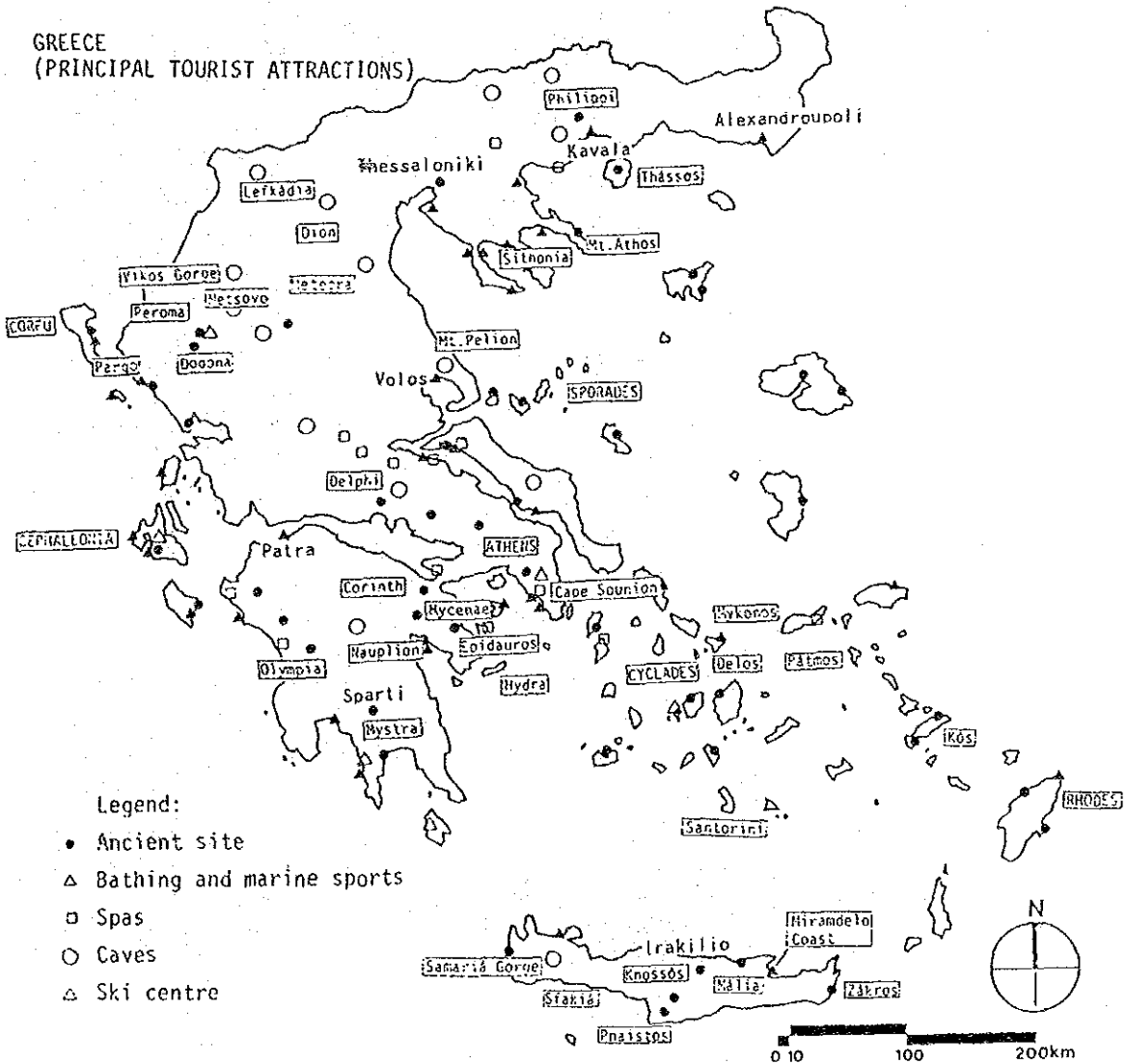
終りに、当調査の遂行にあたりまして、貴事業団ならびに作業監理委員会、駐希日本大使館より多大なるご指導とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。更に、ギリシャ政府、ギリシャ政府観光局および関係諸機関より多大な協力があったことを御報告いたします。

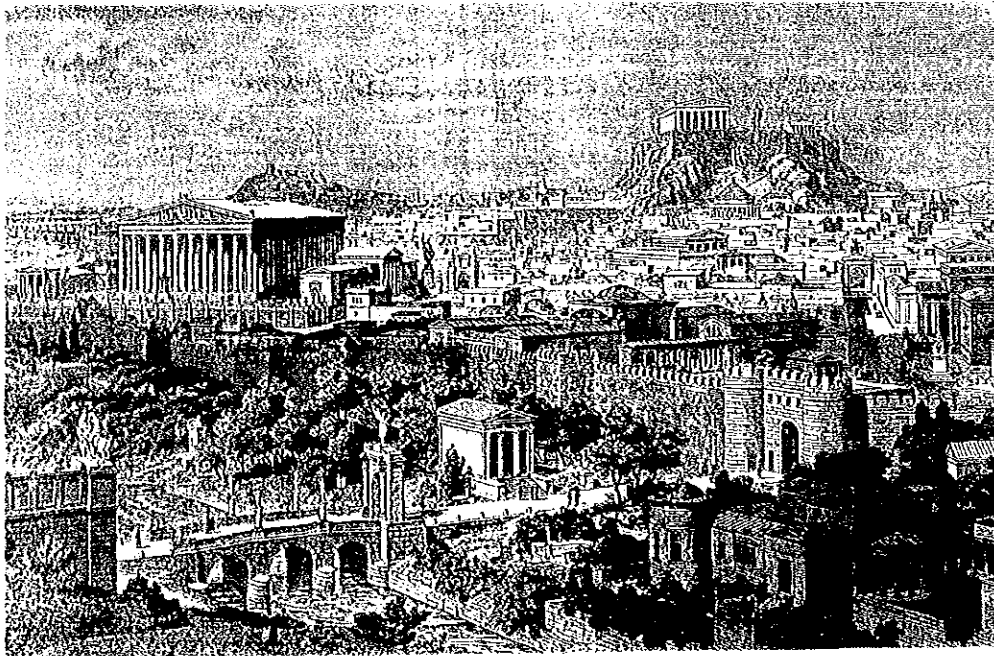
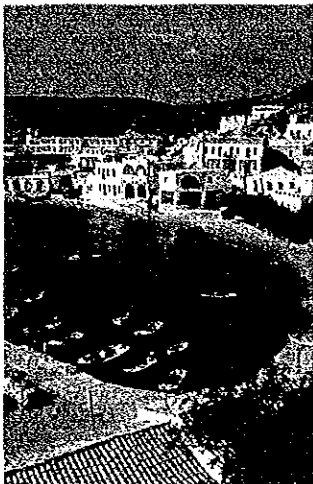
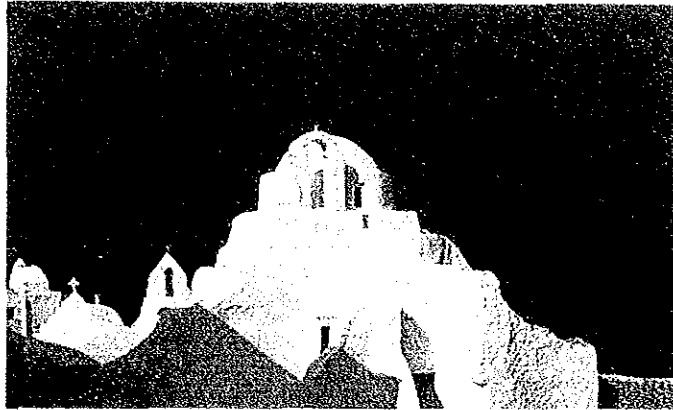
ギリシャ国観光振興計画調査
調査団長 大津 攻

STUDY AREA MAP



GREECE (PRINCIPAL TOURIST ATTRACTIONS)





A view of Athens from the east in Hadrian's time (restoration)

目 次

第1章 序

| | |
|---------------|------|
| 1. 1 調査の背景と目的 | 1- 1 |
| 1. 1. 1 調査の背景 | 1- 1 |
| 1. 1. 2 目的 | 1- 1 |
| 1. 2 調査の内容 | 1- 2 |
| 1. 2. 1 調査項目 | 1- 2 |
| 1. 2. 2 調査の工程 | 1- 4 |
| 1. 3 調査体制 | 1- 5 |

第2章 国の概要

| | |
|---------|------|
| 2. 1 地勢 | 2- 1 |
| 2. 2 気候 | 2- 1 |
| 2. 3 人口 | 2- 3 |
| 2. 4 経済 | 2- 5 |
| 2. 5 雇用 | 2- 8 |

第3章 観光の概要

| | |
|----------------------|------|
| 3. 1 観光需要の特性 | 3- 1 |
| 3. 1. 1 外国人観光客の推移 | 3- 1 |
| 3. 1. 2 国別外国人観光客数の推移 | 3- 2 |
| 3. 1. 3 観光客数の季節変動 | 3- 5 |
| 3. 1. 4 交通機関別旅行客数 | 3- 6 |
| 3. 1. 5 ホテル等への滞在状況 | 3- 6 |
| 3. 1. 6 日本人観光客 | 3- 8 |
| 3. 2 観光がギリシャ経済へ及ぼす影響 | 3-12 |
| 3. 2. 1 観光収入 | 3-12 |
| 3. 2. 2 観光収入による税収 | 3-15 |
| 3. 2. 3 観光と雇用 | 3-16 |
| 3. 2. 4 日本人旅行者の消費 | 3-18 |

第4章 ギリシャの観光政策

| | |
|--------------|------|
| 4. 1 組織と実施体制 | 4- 1 |
| 4. 2 主要施策 | 4- 1 |

| | |
|----------------------|------|
| 第5章 日本人の海外旅行の現状 | |
| 5.1 日本人の海外旅行者数 | 5-1 |
| 5.2 年令別・性別の特徴 | 5-1 |
| 5.3 海外旅行の目的 | 5-4 |
| 5.4 海外旅行日程 | 5-4 |
| 5.5 海外旅行の季節波動 | 5-6 |
| 5.6 パッケージ・ツアー利用動向 | 5-7 |
| 5.7 日本人の海外旅行先 | 5-8 |
| 5.8 海外旅行の経費 | 5-10 |
| 5.9 同行者 | 5-10 |
| 5.10 希望海外旅行先 | 5-11 |
| 5.11 日本のパッケージ・ツアーの特長 | 5-12 |

| | |
|------------------------------------|------|
| 第6章 市場調査および分析 | |
| 6.1 調査の方法 | 6-1 |
| 6.1.1 全国オムニバス調査 | 6-1 |
| 6.1.2 ギリシャ旅行経験者調査 | 6-1 |
| 6.1.3 非ギリシャ・ヨーロッパ旅行経験者調査 | 6-1 |
| 6.1.4 サロニカ湾1日クルーズ船上での調査 | 6-2 |
| 6.1.5 アテネにおける旅行代理店を通じての日本人旅行客への調査 | 6-2 |
| 6.1.6 グループ・インタビュー調査 | 6-2 |
| 6.1.7 日本およびギリシャにおける旅行代理店へのインタビュー調査 | 6-2 |
| 6.2 調査結果の分析 | 6-3 |
| 6.2.1 デモグラフィック特性 | 6-3 |
| 6.2.2 市場特性 | 6-6 |
| 6.2.3 ギリシャ旅行の選択理由 | 6-9 |
| 6.2.4 ギリシャ旅行に関する情報 | 6-11 |
| 6.2.5 旅行形態 | 6-12 |
| 6.2.6 ギリシャ旅行の評価 | 6-20 |

| | |
|-------------------|------|
| 第7章 ギリシャ観光の現状分析 | |
| 7.1 観光資源と観光施設の現状 | 7-1 |
| 7.1.1 観光資源 | 7-1 |
| 7.1.2 観光施設および観光産業 | 7-6 |
| 7.2 交通輸送体系 | 7-14 |
| 7.2.1 国際航空 | 7-14 |
| 7.2.2 国内航空 | 7-23 |
| 7.2.3 海上交通 | 7-28 |
| 7.2.4 陸上交通 | 7-33 |

| | | |
|-------|-----------------------|-------|
| 7. 3 | 地域の特徴 | 7- 40 |
| 7.3.1 | Thessaloniki と北部ギリシャ | 7- 41 |
| 7.3.2 | 中央ギリシャ | 7- 45 |
| 7.3.3 | Athens と Attica 地方 | 7- 48 |
| 7.3.4 | Peloponnese | 7- 54 |
| 7.3.5 | Ionian 諸島 | 7- 60 |
| 7.3.6 | 北部諸島と中央部エーゲ海諸島 | 7- 63 |
| 7.3.7 | Crete と 南部エーゲ海諸島 | 7- 66 |
| 7. 4 | プロモーション活動 | 7- 73 |
| 7.4.1 | ギリシャ政府観光局のプロモーション活動 | 7- 73 |
| 7.4.2 | 他の政府関係機関 | 7- 92 |
| 7.4.3 | 民間部門 | 7- 92 |
| 7.4.4 | 公的部門および民間部門相互の協力関係の強化 | 7- 96 |
| 7.4.5 | 日本国内における他のプロモーション活動 | 7- 96 |
| 7. 5 | 海外投資 | 7-112 |
| 7.5.1 | 外資政策 | 7-112 |
| 7.5.2 | 投資環境 | 7-116 |
| 7.5.3 | 海外投資実績 | 7-119 |

第8章 将来需要予測

| | | |
|-------|----------|------|
| 8. 1 | 予測の方法 | 8- 1 |
| 8.1.1 | 予測の考え方 | 8- 1 |
| 8.1.2 | 手法Aによる予測 | 8- 3 |
| 8.1.3 | 手法Bによる予測 | 8- 5 |
| 8.1.4 | 手法Cによる推計 | 8- 7 |
| 8. 2 | 需要予測結果 | 8- 8 |

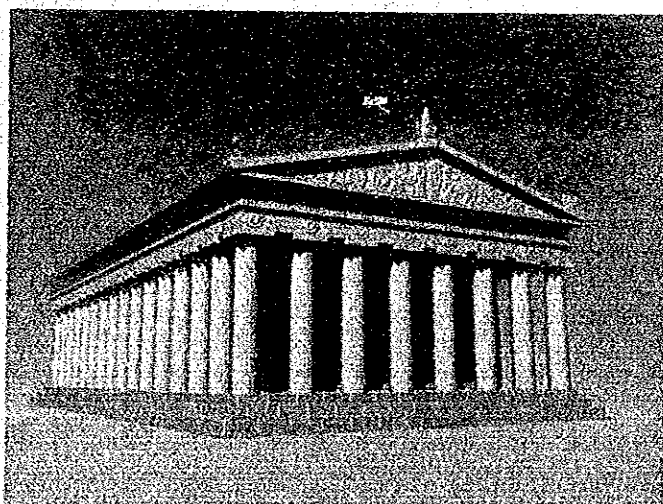
第9章 観光振興計画

| | | |
|-------|-------------------|------|
| 9. 1 | 計画目標と基本的戦略・方策 | 9- 1 |
| 9.1.1 | 計画目標 | 9- 1 |
| 9.1.2 | 基本的戦略 | 9- 2 |
| 9. 2 | 基本コンセプトとアピール・ポイント | 9- 4 |
| 9.2.1 | ギリシャ全体 | 9- 4 |
| 9.2.2 | アテネ | 9- 6 |
| 9.2.3 | ロードス | 9- 7 |
| 9.2.4 | ミコノス | 9- 8 |
| 9.2.5 | 3日間クルーズ | 9- 9 |
| 9.2.6 | ペロポネソス半島東部 | 9-10 |

| | | |
|-------|---------------------------|------|
| 9.3 | プロモーション活動計画 | 9-12 |
| 9.3.1 | 日本でのプロモーション活動 | 9-12 |
| 9.3.2 | ギリシャでのイベント | 9-41 |
| 9.3.3 | 両国文化交流の推進 | 9-51 |
| 9.4 | 主要地域ごとの改善計画案 | 9-52 |
| 9.4.1 | アテネ市内の主要観光地 | 9-52 |
| 9.4.2 | アテネ周辺地域 | 9-58 |
| 9.4.3 | アテネを基点とした1日ツアー | 9-59 |
| 9.4.4 | エーゲ海3日間クルーズ-船上サービスと主な寄港地- | 9-65 |
| 9.5 | 関連施設とサービスの改善方向 | 9-66 |
| 9.5.1 | 宿泊施設 | 9-66 |
| 9.5.2 | レストラン | 9-69 |
| 9.5.3 | ショッピング | 9-70 |
| 9.5.4 | 旅行者へのサービス改善 | 9-70 |
| 9.6 | 交通輸送サービス | 9-74 |
| 9.6.1 | 国際航空輸送 | 9-74 |
| 9.6.2 | 国内航空輸送 | 9-75 |
| 9.6.3 | オリンピック航空 | 9-76 |
| 9.6.4 | 空港施設・サービス | 9-77 |
| 9.6.5 | 都市交通 | 9-78 |
| 9.7 | その他 | 9-80 |

APPENDIX

第1章 序



第 1 章 序

1. 1 調査の背景と目的

1. 1. 1 調査の背景

ギリシャは、その豊かな古代遺跡や青く美しい海、山岳、絵のような街並や街路等々によって世界的に有名な国際観光地であり、観光先進国といえる。世界各国から非常に多くの観光客を集めており、観光入込客数はこの10年間をみても、1978年の510万人から1988年には820万人へと着実に増加を続けている。

観光セクターは、ギリシャ国経済においても重要な役割を担っている。すなわち、観光客の直接消費やクレジット・カードの利用、クルーズ客の消費などを含んだ観光による外貨収入は、貿易収支赤字の半数強を補っており、また、国民総生産（GNP）の7.8%に相当する。

ギリシャ経済が直面しているさまざまな経済問題—— 対外債務の増大、世界的な海運不況、海外移民からの送金の伸び悩み等—— に対処していくためにも、貴重な外貨収入源である観光産業の振興には大きな期待がかけられている。

このような背景のもと、ギリシャ国政府の要請にもとづき、日本国政府は国際協力事業団（JICA）を通じて、同国の観光振興計画調査を実施することに同意した。

本調査のための Scope of work は、1988年3月に、ギリシャ政府観光局（GNTO）とJICAとの間で合意、サインされた。

そこで、JICAは本調査実施のための調査団および作業監理委員会を設定し、1988年9月中旬より、調査は開始された。

1. 1. 2 目的

ギリシャにおける観光開発、施設整備状況等を踏まえ問題点、制約条件を分析し、日本人観光客の増加に資する観光振興計画を策定、提言する。

なお、ギリシャにおける観光インフラとともに運営、組織にかかる検討に調査の重点を置くものとする。

1. 2 調査の内容

1. 2. 1 調査項目

1) 調査対象地域

目的地としてのギリシャ、及び出発点としての日本を調査の対象とする。

2) 目標年次

需要予測、提言の目標年次は1992年とする。

3) 内容

先に述べた目的を達成するよう、以下の内容について調査する。

(1) 現況把握、分析

(a) 日本人観光客に関連する既存調査の見直し

ギリシャ政府観光局作成「日本における旅行市場」、本件事前調査報告書をはじめ、日本人観光客に関連した既存調査、資料、情報等を分析・検討し、ギリシャ観光における日本人旅行市場の特性、動向を明確化するとともに、今後の調査で補うべき情報、データ等を明らかにする。

(b) 現況調査

ギリシャの社会・経済状況を踏まえ、同国観光の現況・特性を次のような項目に留意の上、把握する。

- ・自然及び文化的観光資源
- ・社会基盤施設
- ・輸送基盤（国際航空路線を含む）
- ・観光施設
- ・観光行政、制度、法令、組織
- ・観光開発、振興政策
- ・観光事業（日本側観光事業を含む）
- ・人材、訓練
- ・その他

(c) 制約及び問題点等の抽出

現況把握の結果、日希双方より明らかとなった制約及び問題点等を分析、抽出する。

(2) 日本人旅行者にかかる市場調査及び需要予測

(a) 観光資源、インフラにかかる評価

ギリシャにおける日本人観光客に関連すると考えられる既・未開発の観光資源（自然、文化、歴史的資源等）の現況及び観光インフラ・施設の現状を分析し、日本人観光客誘致の観点から評価する。

また、これら観光資源、観光インフラの潜在開発可能性についても検討する。

なお、これら観光資源と観光施設との所在の関連、及びこれらを結ぶ輸送機関の他、国際交通路網上からの利便性等についても評価の対象とする。

(b) 市場調査及び分析

ギリシャに対する量的・質的観光需要を予測するため、日本人観光客にかかる観光パターン（目的、旅行形態、年齢・性別構成、旅行期間、旅行シーズン、支出特性）、目的地選定状況、選択性等につき市場調査、動向分析を実施し、需要予測の精度向上を計るとともに、既に検討したギリシャ観光にかかる制約及び問題点を再検証する。

このため、日本人観光客、日希双方における観光事業関係者等を対象にアンケートないしインタビュー等による実態調査を実施する。

(c) 将来需要に影響を及ぼす内的・外的要因検討

次のような項目につき日本人観光客の将来需要に影響する要因を検討する。

- ・日本の社会・経済フレーム
- ・日本人の観光パターン
- ・日本人の余暇パターン
- ・目的地選定要因
- ・他の観光地との組合せ及び競合関係
- ・エアライン就航状況
- ・投資環境
- ・その他

(d) 観光需要予測

上記の検討結果に基づき、1992年を予測年次とする日本人観光客の海外市場におけるシェア、特性及びギリシャにおけるシェアおよび観光パターン（年齢・性別構成、目的、旅行形態、旅行期間、旅行シーズン、支出特性等）等にかかる質的・量的需要予測を実施する。

(3) 日本人観光客の増加に資する観光振興計画策定

(a) 計画目標の設定

- ・需要予測に基づく、1992年を目標年次とした日本人観光客人込み目標の設定

(b) 日本人観光客誘致条件の検討

- ・調査の結果判明した、ギリシャへの日本人観光の制約条件、問題点及び需要変動にかかる内的・外的要因を踏まえ、計画目標を達成するための日本人観光客誘致条件を設定する。

(c) 振興のための戦略・方策の検討

前項の誘致条件を満たす観光振興のための具体戦略・方策を、次のような項目に留意の上検討する。

- ・国際航空路線
- ・出入国手続
- ・日本人への観光宣伝、観光情報
- ・観光資源
- ・観光施設
- ・ギリシャ国内交通手段
- ・人的サービス
- ・安全
- ・ショッピング、土産品等

(d) 実行計画の策定

実行可能性の高い方策、戦略について、次の項目を明らかにしながらプロジェクトとして取りまとめ、実行計画を策定する。

- ・プロジェクト概要
- ・費用推定
- ・実施体制
- ・実施工程
- ・プロジェクト評価
- ・他の計画との調整等

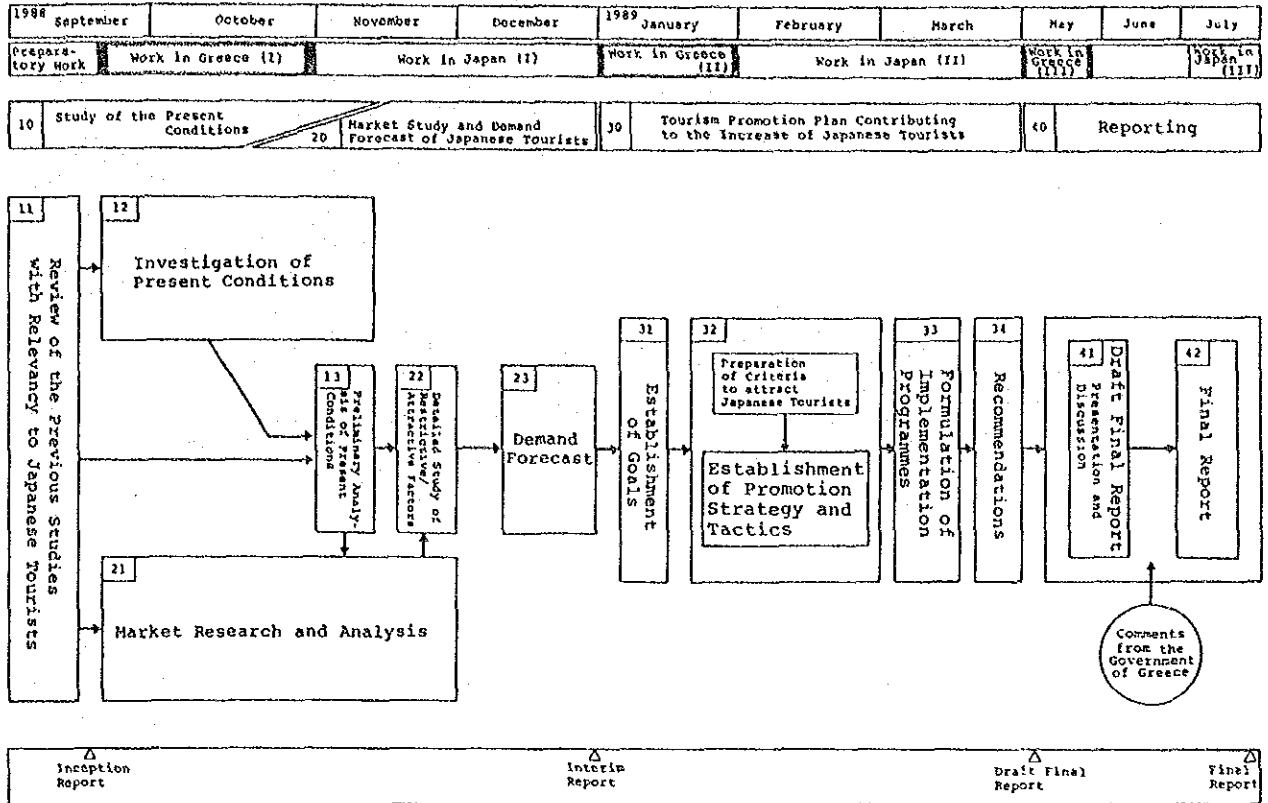
(4) 観光振興にかかる提言

以上の調査を踏まえ、日本人観光客誘致によるギリシャ観光振興にかかる提言を取りまとめる。

1.2.2 調査の工程

本調査は1988年9月中旬に開始され、1989年7月に完了した。全体の調査スケジュールは図1.2.1に示されるとおりである。

Figure 1.2.1
Study Schedule

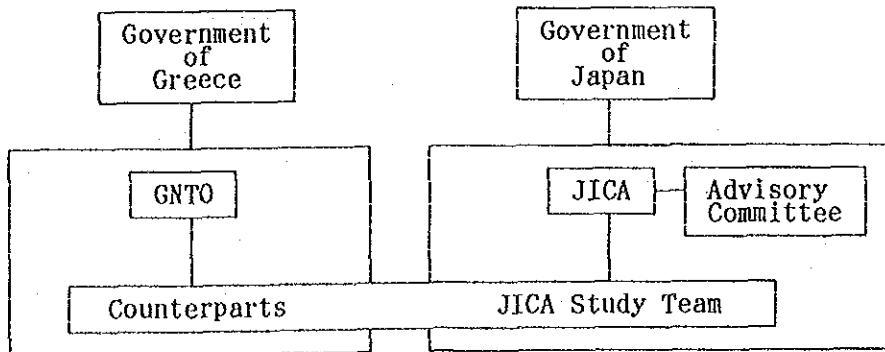


1. 3 調査体制

本調査は、GNT Oおよび他の関連省庁との密接な協力のもとに、JICA調査団により遂行された。

調査の実施体制を図示すると図1.3.1のとおりである。

Figure 1.3.1
Organizational Framework



1) J I C A 調査団

J I C A 調査団の調査員リストは表 1.3.1 のとおり。

表 1.3.1
調査団員一覧

| 担当 | 氏名 |
|------------|--------|
| 1. 総括 | 大津 攻 |
| 2. 観光振興計画 | 林 魏 |
| 3. 観光施設計画 | 中田 裕久 |
| 4. 広報企画計画 | 原田 隆 |
| 5. 輸送計画 | 田中 博 |
| 6. 市場調査 | 今井 成男 |
| 7. 需要予測 | 今井 晴彦 |
| 8. 財務分析 | 伊原 ちづ子 |
| 9. 経済・社会評価 | 岩田 鎮夫 |

2) J I C A 作業監理委員会

J I C A は、以下に示すようなメンバーにより調査団に適切な助言を与えるよう、作業監理委員会を組織した。

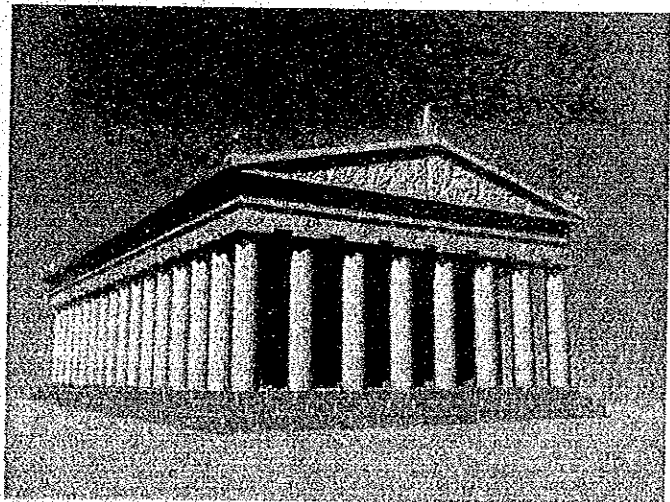
表 1.3.2
作業監理委員一覧

| 担当 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-------|----------------------------|
| 1. 委員長(総括) | 柴田 耕介 | 運輸省国際運輸・観光局渉外官 |
| 2. 委員(観光政策) | 丸山 一夫 | 運輸省国際運輸・観光局観光部 企画課国際業務室 |
| 3. 委員(観光振興計画) | 黒須 淇一 | 国際観光振興会事業第二部次長 |
| 4. 委員(需要予測) | 尾原 亘 | 運輸省国際運輸・観光局国際協力課 |

3) カウンターパート

G N T O が J I C A 調査団に対するカウンターパート機関となり、関連省庁並びに G N T O から必要なメンバーが選出されてカウンターパート・チームが構成された。

第2章 国の概要



第 2 章 国 の 概 要

2. 1 地 勢

ギリシャは、ヨーロッパ大陸の南端バルカン半島に位置し、地中海に面している。国土の北は、アルバニア、ブルガリア、ユーゴスラヴィアに、東はトルコに接しており、イオニア海と地中海をはさんでイタリアおよびアフリカ諸国とも隣国関係にある。このような地理的条件を背景に、ギリシャは古くから東洋と西洋の文明の接点となり、また西洋文明の揺籃の地となってきた。ギリシャ観光の魅力は、主にこのような地理的、歴史的な特徴に負うところが大きい。

国土の面積は、13万2,000km²で、南北に約1,300km、東西に1,000kmに広がっている。国土の主要部分は、ほとんどが山岳地帯で、Pindos 山脈が南北に走っており、最高部は2,000m級の山岳となり、晩春まで雪を載っている。平野部は少なく、Athens, Thessaloniki Larissa などの大都市地域に限られている。エーゲ海、イオニア海には大小427の島があり、その内134島には人が居住している。ギリシャは、入り組んだ地形のため海岸線が長く、その総延長は約15,000kmに及び、ヨーロッパ随一である。

このように、南北に伸びた起伏の多い地形と長い海岸線もまたギリシャ観光の多種多様な魅力をひきだす要素のひとつとなっている。

2. 2 気 候

ギリシャの気候は、四季により、また地域によって異なるが、基本的には年間を通して温暖な「地中海性気候」である。(表2.2.1参照) 6月から9月までの夏期には、青い空と輝く太陽にめぐまれ、最高気温も7、8月には、しばしば40℃を超える高温となるが、湿度は少ない。(Athens の7月、8月の平均気温は、それぞれ27.3℃、26.5℃である)

冬期の気候は、南部では、12月、1月でも平均気温12~13℃と温暖であるが、中央部から北部にかけては比較的寒冷で、山岳には降雪がみられる。また国土全体を通じ、冬期は雨が比較的多い季節となっている。春秋の気候は、平均気温15~20℃と温暖である。

現在、ギリシャの観光シーズンは、「青い空と輝く太陽」を求めて夏期に集中しているが、晩春および初秋も同様の条件で楽しむことができる。周遊観光目的であれば、観光客にとっては、春や秋の方が気候は快適であるといえよう。このように、ギリシャの気候は季節の変化に富んでいるため、旅行の目的に応じて季節を選ぶことが重要である。

Table 2.2.1
Climate of Greece^{1/}

1) Air Temperature in Degrees/Celsius

i) Average (1971 - 1980)

| | Jan | Feb | Mar | Apr | May | Jun | Jul | Aug | Sep | Oct | Nov | Dec | Annual |
|---------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|
| Athens | 9.3 | 10.1 | 12.2 | 15.3 | 20.7 | 25.2 | 27.3 | 26.5 | 23.2 | 18.3 | 14.4 | 11.0 | 17.8 |
| Herakleion | 12.0 | 12.4 | 13.7 | 16.4 | 20.3 | 24.1 | 26.0 | 25.4 | 23.3 | 20.4 | 16.4 | 13.4 | 18.6 |
| Thessaloniki | 5.0 | 7.0 | 9.6 | 13.5 | 19.4 | 24.2 | 26.4 | 25.2 | 21.0 | 15.4 | 10.4 | 6.2 | 15.3 |
| Kalamata | 9.5 | 10.3 | 12.1 | 14.3 | 19.5 | 24.0 | 25.8 | 25.5 | 22.5 | 17.8 | 13.7 | 10.8 | 17.2 |
| Corfu | 9.8 | 10.6 | 12.1 | 14.6 | 19.5 | 23.8 | 25.7 | 25.5 | 22.1 | 17.8 | 13.6 | 10.8 | 17.2 |
| Rhodes | 11.3 | 12.1 | 13.6 | 16.3 | 20.6 | 24.8 | 26.8 | 26.5 | 24.2 | 20.3 | 16.1 | 12.7 | 18.8 |
| Tokyo ^{2/} | 4.7 | 5.4 | 8.4 | 13.9 | 18.4 | 21.5 | 25.2 | 26.7 | 22.9 | 17.3 | 12.3 | 7.4 | 15.3 |
| Senda ^{2/} | 0.9 | 1.3 | 4.2 | 10.0 | 14.9 | 18.4 | 22.2 | 23.9 | 20.0 | 14.3 | 8.7 | 3.7 | 11.9 |

ii) Absolute Maximum (1985)

| | Jan | Feb | Mar | Apr | May | Jun | Jul | Aug | Sep | Oct | Nov | Dec | Annual |
|---------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|
| Athens | 19.8 | 19.5 | 19.2 | 29.8 | 32.1 | 34.7 | 39.0 | 40.0 | 34.3 | 30.7 | 24.8 | 21.4 | 40.0 |
| Herakleion | 22.4 | 23.5 | 22.4 | 34.2 | 29.5 | 33.8 | 33.4 | 35.2 | 29.5 | 24.8 | 28.6 | 21.0 | 35.2 |
| Thessaloniki | 17.4 | 18.0 | 17.8 | 31.2 | 31.6 | 34.0 | 38.4 | 37.8 | 34.0 | 28.0 | 19.4 | 19.2 | 38.4 |
| Kalamata | 18.6 | 19.2 | 23.0 | 29.8 | 30.4 | 33.6 | 37.8 | 39.4 | 33.4 | 28.8 | 23.6 | 20.4 | 39.4 |
| Corfu | 18.0 | 17.2 | 20.6 | 25.6 | 33.8 | 31.0 | 37.0 | 37.2 | 32.8 | 30.0 | 22.0 | 20.2 | 37.2 |
| Rhodes | 18.6 | 18.2 | 18.8 | 24.6 | 30.0 | 31.2 | 34.0 | 34.6 | 32.6 | 29.6 | 24.8 | 20.8 | 34.6 |
| Tokyo ^{2/} | 9.5 | 10.0 | 13.0 | 18.4 | 22.7 | 25.3 | 28.9 | 30.8 | 26.7 | 21.2 | 16.6 | 12.1 | 19.6 |
| Senda ^{2/} | 5.2 | 5.8 | 9.1 | 15.2 | 19.8 | 22.4 | 25.9 | 28.0 | 24.1 | 19.0 | 13.7 | 8.1 | 16.4 |

iii) Absolute Minimum (1985)

| | Jan | Feb | Mar | Apr | May | Jun | Jul | Aug | Sep | Oct | Nov | Dec | Annual |
|---------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|
| Athens | 2.1 | -0.2 | 4.3 | 6.0 | 10.1 | 16.4 | 16.9 | 18.3 | 14.4 | 6.3 | 7.6 | 3.4 | -0.2 |
| Herakleion | 5.5 | 2.5 | 6.4 | 9.2 | 10.4 | 15.5 | 18.5 | 19.0 | 15.2 | 9.6 | 9.8 | 6.0 | 2.5 |
| Thessaloniki | -5.2 | -8.4 | 2.0 | 3.0 | 4.4 | 15.0 | 14.2 | 16.2 | 10.0 | 3.2 | 2.0 | -1.0 | -8.4 |
| Kalamata | 0.6 | -3.2 | 3.0 | 5.4 | 8.0 | 11.8 | 14.0 | 14.6 | 11.4 | 4.8 | 6.6 | 0.3 | -3.2 |
| Corfu | -1.6 | -2.0 | 3.8 | 5.0 | 5.4 | 12.0 | 14.8 | 14.8 | 13.4 | 7.2 | 6.0 | -0.6 | -2.0 |
| Rhodes | 8.0 | 3.0 | 4.2 | 11.4 | 14.0 | 18.4 | 20.6 | 22.4 | 18.8 | 12.4 | 13.8 | 7.8 | 3.0 |
| Tokyo ^{2/} | 0.5 | 1.2 | 4.2 | 9.8 | 14.5 | 18.4 | 22.2 | 23.6 | 19.9 | 13.9 | 8.4 | 3.3 | 11.7 |
| Senda ^{2/} | -2.7 | -2.5 | -0.1 | 5.2 | 10.3 | 15.2 | 19.3 | 20.8 | 16.6 | 10.3 | 4.4 | -0.1 | 8.1 |

2) Precipitation

i) Precipitation in mm (average 1971 - 1980)

| | Jan | Feb | Mar | Apr | May | Jun | Jul | Aug | Sep | Oct | Nov | Dec | Annual |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| Athens | 44 | 57 | 42 | 28 | 17 | 8 | 5 | 8 | 16 | 17 | 53 | 66 | 360 |
| Herakleion | 94 | 66 | 52 | 31 | 12 | 3 | 1 | 0 | 23 | 64 | 53 | 76 | 476 |
| Thessaloniki | 42 | 41 | 42 | 46 | 48 | 26 | 30 | 29 | 36 | 62 | 43 | 37 | 482 |
| Kalamata | 112 | 118 | 64 | 77 | 23 | 6 | 5 | 9 | 28 | 120 | 148 | 123 | 834 |
| Corfu | 146 | 150 | 114 | 75 | 42 | 7 | 19 | 23 | 79 | 174 | 168 | 149 | 1147 |
| Rhodes | 149 | 139 | 63 | 31 | 20 | 5 | 0 | 0 | 3 | 66 | 64 | 125 | 665 |
| Tokyo ^{2/} | 54 | 63 | 102 | 128 | 148 | 181 | 125 | 137 | 193 | 181 | 93 | 56 | 1460 |
| Senda ^{2/} | 46 | 48 | 72 | 82 | 108 | 141 | 160 | 153 | 175 | 116 | 69 | 49 | 1219 |

ii) Days of Precipitation (average 1971 - 1980)

| | Jan | Feb | Mar | Apr | May | Jun | Jul | Aug | Sep | Oct | Nov | Dec | Annual |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| Athens | 13 | 14 | 10 | 10 | 7 | 4 | 3 | 2 | 5 | 9 | 10 | 12 | 101 |
| Herakleion | 17 | 15 | 11 | 9 | 4 | 1 | 0 | 1 | 3 | 9 | 10 | 14 | 94 |
| Thessaloniki | 13 | 12 | 13 | 12 | 11 | 7 | 6 | 6 | 8 | 10 | 10 | 10 | 118 |
| Kalamata | 16 | 14 | 11 | 13 | 6 | 4 | 1 | 3 | 5 | 12 | 13 | 14 | 112 |
| Corfu | 17 | 15 | 13 | 14 | 8 | 4 | 3 | 4 | 8 | 13 | 14 | 14 | 127 |
| Rhodes | 15 | 13 | 9 | 8 | 4 | 2 | 0 | 0 | 2 | 7 | 8 | 12 | 80 |
| Tokyo ^{2/} | 5 | 6 | 9 | 10 | 10 | 12 | 10 | 9 | 11 | 10 | 7 | 5 | 104 |
| Senda ^{2/} | 6 | 6 | 7 | 8 | 9 | 12 | 13 | 12 | 12 | 9 | 6 | 6 | 105 |

^{1/} Tokyo and Senda are shown for reference. Tokyo at 35° 40' north, Senda at 38° 16' north (Athens at 38° 00').

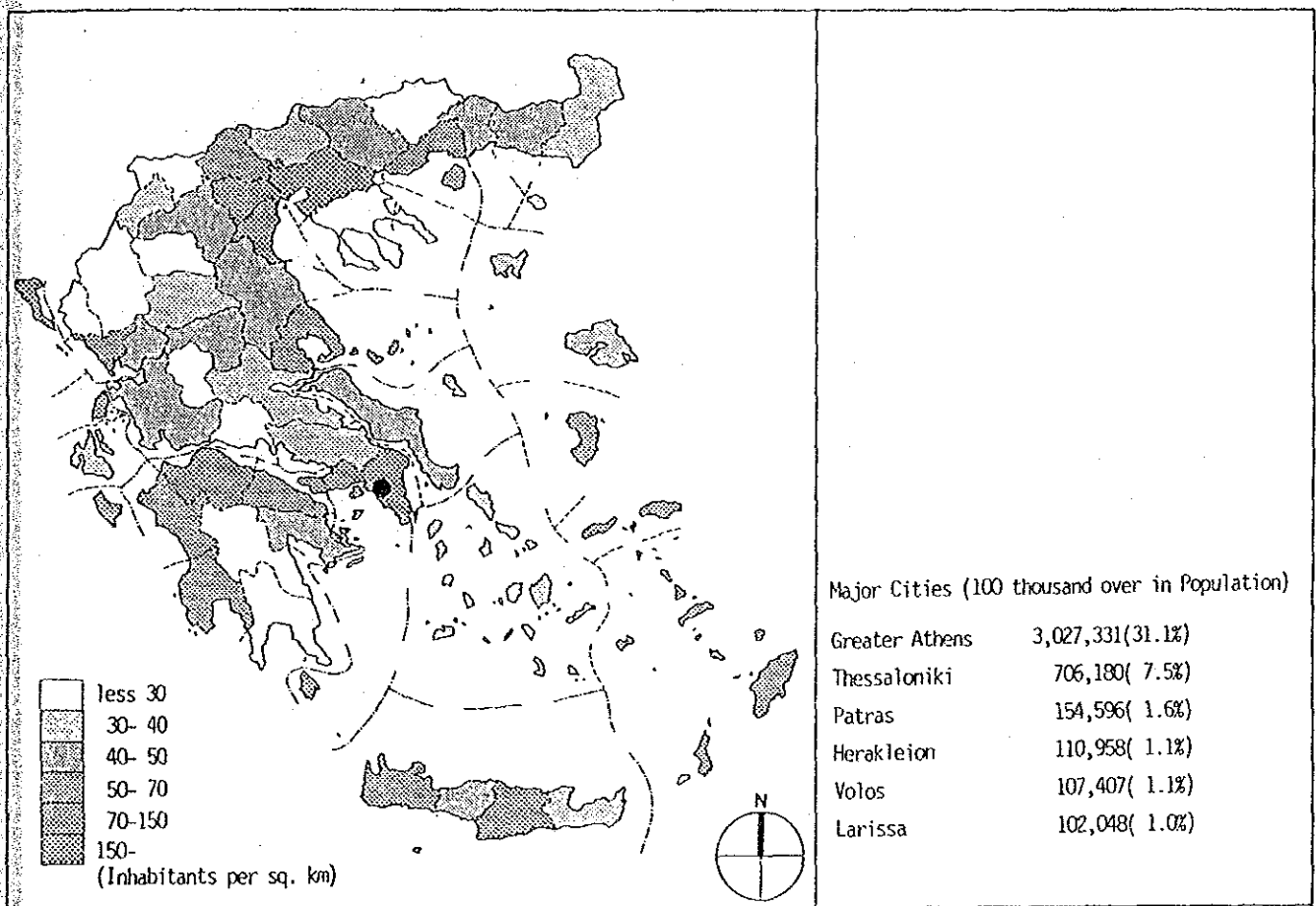
^{2/} Average of absolute maximum/minimum by each month.

Sources: Statistical Yearbook of Greece, 1986
Rika Kenpyo (Science Yearbook of Japan), 1988

2.3 人口

ギリシャの人口は、約1千万人、人口増加率は年間0.6%であり、他のOECD加盟諸国と同様の人口増加水準である。Greater Athens はギリシャ最大の都市地域で全人口の31%(1981年)が集中している。Thessaloniki は、第2の都市で1981年の人口は71万人である。ギリシャにおいても都市への人口集中が進んでいるが、Athens, Thessaloniki の2都市に限られている。この他に人口10万人以上の都市としては、Patras, Herakleion, Volos, Larissa がある(図2.3.1参照)

Figure 2.3.1
Population Density by Administrative Department
'Nomos', 1981



Greater Athens と Thessaloniki を除くと、コミュニティの平均人口は約13,000人(1981年)で、地方の地域振興・開発がギリシャの重要課題となっている。各地域における外国人観光客の地域住民に対する割合は、表2.3.1に示す通りであり、地域によっては居住人口の2%以上に及んでいるところもある。

ギリシャは、比較的人口規模の小さな国であるが、Greater Athensから小さな島のコミュニティーに至るまで、それぞれの歴史的背景に基づく特徴をもっている。地域開発政策上の観点からは、人口が少ない地域の観光開発が優先されている。カナダ、オーストラリア、南アフリカ、西ドイツをはじめ世界中に大きなギリシャ人の移民居住地があり、このような移民による外国文化との接触の長い歴史が 'Philoxenia' という言葉に代表されるような外国人に対するギリシャ人の歓待の精神を育んできたともいえよう。

Table 2.3.1
Number of Tourists/Tourist nights
per Inhabitants in Some Areas

| Region/ Area | Number of Tourists per 1,000 Inhabitants a Year | | Number of Tourist - Nights per 1,000 Inhabitants a Year | |
|-----------------|---|-----------|---|-----------|
| | Greek | Foreigner | Greek | Foreigner |
| Dodecanese | 877 | 5,300 | 10.5 | 142.2 |
| Corfu | 961 | 3,730 | 9.0 | 90.6 |
| Crete | 418 | 1,923 | 3.2 | 37.3 |
| Chalkidiki | 968 | 1,176 | 11.0 | 29.9 |
| Argolis | 1,212 | 3,522 | 7.9 | 28.5 |
| Cyclades | 861 | 1,731 | 7.1 | 21.0 |
| Samos | 353 | 954 | 4.0 | 20.6 |

Source: Tourist Statistics, Years 1984 and 1985

2. 4 経済

1) 産業構成

ギリシャの産業構成は、表2.4.1に示されるように第一次産業の割合が比較的大きく、国内総生産（GDP）の16.4%（1987年）を占めている。主要な農産物は、小麦、煙草、綿花、果物、野菜等で、食糧の自給を果している。第二次産業の割合は、1970年代、80年代を通じて、GDPのほぼ30%で推移している。製造業は、食料、飲料、タバコ、繊維、靴などの軽工業がほとんどを占めている。

ギリシャの工業化は、1950年代に建設および軽工業部門で始まり、1962年以降は、近代的な製造技術分野での外国企業の投資が急速に進んだため、工業化は大きく進展した。1960年代初めには、中東諸国からの石油輸入による石油化学工業も始まった。しかし、1973年、1979年の2度にわたる‘石油危機’がギリシャ経済に及ぼした影響は深刻であった。また中東諸国の石油化学工業の発展もギリシャには打撃を打えた。1982年以降は、世界的な景気の回復を背景にギリシャの経済も成長を続けているが、重工業部門の進展は思わしくない。

第三次産業は、1961年以降、GDPの約50%を占めており、徐々に成長を続けている。

Table 2.4.1
Economic Indicators of Greece

| | 1961 | 1971 | 1981 | 1986 | 1987 |
|---|------|--------|--------|--------|--------|
| 1. GNP | | | | | |
| 1) Nominal GNP (Drs billion) | 121 | 338 | 2,110 | 5,496 | 6,361 |
| 2) Real GNP (Drs billion at 1970 Price) | 162 | 328 | 484 | 505 | 504 |
| 3) Real Growth Rate (%/year) | | 7.3 | 4.0 | 0.9 | -0.2 |
| 4) Per Capita GNP (US\$) | n.a. | 1,276 | 3,911 | 3,940 | 4,677 |
| 2. Sectoral Composition of GDP (%) | | | | | |
| 1) Primary | 22.5 | 18.2 | 17.7 | 16.9 | 16.4 |
| 2) Secondary | 24.5 | 31.9 | 30.7 | 29.4 | 28.7 |
| 3) Tertiary | 49.7 | 49.9 | 51.6 | 53.7 | 54.9 |
| 3. Balance of Payments (US\$ million) | | | | | |
| 1) Import | | 1,927 | 11,468 | 10,198 | 12,556 |
| 2) Export | | 625 | 4,771 | 4,513 | 5,614 |
| 3) Trade Balance | | -1,302 | -6,697 | -5,686 | -6,942 |
| 4) Invisible Earnings | | 1,292 | 6,482 | 6,512 | 8,490 |
| 5) Invisible Payments | | 317 | 2,206 | 2,598 | 2,843 |
| 6) Balance of Invisibles | | 975 | 4,276 | 3,914 | 5,647 |
| 7) Balance | | -327 | -2,421 | -1,772 | -1,295 |

Sources: The Greek Economy in Figures, 1987 (data from 1961 to 1986)
Bank of Greece (1987 data)

2) 貿易

ギリシャの主要輸出品目は、果実、木の実、タバコ、石油製品、紡績糸、衣料、ワインなどである。また、主要輸入品目は、工業製品、自動車、機械、輸送機具および食肉、家畜、穀物等の一部の食料品である。(表2.4.2)

Table 2.4.2
International Trade of Greece, 1987

Major Export

| Item | US\$ million | % |
|---|--------------|-------|
| 1. Food and Beverages | 1,342 | 23.9 |
| Olives & Olive Oil | 248 | 4.4 |
| Fruits & Vegetables | 483 | 8.6 |
| Others | 611 | 10.9 |
| 2. Tobacco | 228 | 4.1 |
| 3. Raw materials and Semi-finished Products | 192 | 3.4 |
| 4. Minerals and Ores | 209 | 3.7 |
| 5. Petroleum Products | 545 | 9.7 |
| 6. Manufactures | 2,879 | 51.3 |
| Textiles | 1,278 | 22.8 |
| Metals & Metal Articles | 269 | 4.8 |
| Furs | 173 | 3.1 |
| Aluminum & Alumina | 189 | 3.0 |
| Chemicals & Pharmaceuticals | 152 | 2.7 |
| Others | 838 | 14.9 |
| 7. Unallocated | 219 | 3.9 |
| Total | 5,614 | 100.0 |

Major Import

| Item | US\$ million | % |
|---|--------------|-------|
| 1. Food | 2,176 | 17.3 |
| Meat and Live Animals | 774 | 6.2 |
| Daily Products | 335 | 2.8 |
| Other | 1,047 | 8.3 |
| 2. Raw Materials | 1,733 | 13.8 |
| Chemicals | 591 | 4.7 |
| Iron and Steel | 494 | 3.9 |
| Others | 648 | 5.2 |
| 3. Fuel | 2,360 | 18.8 |
| Crude Oil | 1,660 | 13.2 |
| Others | 700 | 5.6 |
| 4. Capital Goods | 2,401 | 19.1 |
| Machinery | 1,867 | 14.9 |
| Transport Equipment | 346 | 2.8 |
| Electrical Equipment | 188 | 1.5 |
| 5. Manufactured Consumer Goods | 3,847 | 30.6 |
| Textiles | 583 | 4.6 |
| Plastic & Plastic Articles | 359 | 2.9 |
| Motor Vehicle Articles & Passenger Vehicles | 559 | 4.5 |
| Scientific & Medical Instrument | 342 | 2.7 |
| Others | 2,004 | 18.0 |
| 6. Unallocated | 39 | 0.3 |
| Total | 12,556 | 100.0 |

Source: Monthly Statistical Bulletin, Bank of Greece

ギリシャは現在、主に石油および各種工業製品の輸入超過により、慢性的な貿易赤字を抱えている。

ギリシャの主要輸出先は、西独、イタリー、米国、英国であり、主要輸入相手国は西独、イタリー、OPEC諸国である（表2.4.3）

Table 2.4.3
Greek Trade by Country, 1987

| Country | Export | | | Import | | |
|--------------------|--------------|-------|---------|--------------|-------|---------|
| | US\$ million | % | Ranking | US\$ million | % | Ranking |
| OECD countries | 4,338 | 77.3 | | 10,041 | 80.0 | |
| EEC | 3,192 | 56.9 | | 7,580 | 60.4 | |
| W. Germany | 1,180 | 21.0 | 1 | 2,582 | 20.6 | 1 |
| France | 361 | 6.4 | 5 | 1,057 | 8.4 | 3 |
| Italy | 859 | 15.3 | 2 | 1,452 | 11.6 | 2 |
| Netherlands | 117 | 2.1 | 8 | 825 | 6.6 | 5 |
| Belgium-Luxembourg | 126 | 2.2 | 7 | 335 | 2.7 | |
| U.K. | 435 | 7.7 | 4 | 622 | 5.0 | 6 |
| Others | 114 | 2.0 | | 707 | 5.6 | |
| Other OECD | 1,146 | 20.4 | | 2,461 | 19.6 | |
| Switzerland | 158 | 2.8 | 6 | 372 | 3.0 | 8 |
| USA | 668 | 11.9 | 3 | 1,037 | 8.3 | 4 |
| Japan | 64 | 1.1 | 10 | 346 | 2.8 | |
| Others | 256 | 4.6 | | 706 | 5.6 | |
| East Europe | 204 | 3.6 | | 620 | 4.9 | |
| USSR | 60 | 1.1 | | 369 | 2.9 | 9 |
| Others | 144 | 2.6 | | 251 | 2.0 | |
| OPEC Countries | 205 | 3.7 | | 1,351 | 10.8 | |
| Iraq | 22 | 0.4 | | 413 | 3.3 | 7 |
| Saudi Arabia | 94 | 1.7 | 9 | 364 | 2.9 | 10 |
| Others | 89 | 1.6 | | 574 | 4.6 | |
| Other Countries | 867 | 15.4 | | 544 | 4.3 | |
| TOTAL | 5,614 | 100.0 | | 12,556 | 100.0 | |

Source : Monthly Statistical Bulletin, July 1988 Bank of Greece.
July 1988

3) 貿易外収支

貿易外収入の主なものは、観光、海運および海外からの送金受取りであり、総額84億9,000万USドルに達している。1987年の貿易外収支は、56億4,700万USドルの黒字であり、貿易赤字額の81%をこれで補填している。

ギリシャの1人当たり国民総生産は、1987年で4,617USドルとEEC諸国の中ではまだ低水準にある。しかし農業生産部門の余力が大きいと、食糧の自給国であり、国民の生活水準は、必ずしも低いレベルとはいえない。また、重工業や先端技術工業の発展もまだ充分ではなく、貿易赤字の大部分は貿易外収入によって埋められている。

以上のことから、観光収入を含む貿易外収入の構造調整と強化は、ギリシャ経済にとって極めて重要な課題となっている。

2.5 雇用

1986年の就業人口は、約360万人であるが、1981年に350万人であったことからみると年率わずか0.4%の伸びをみるにすぎない。就業者の中では、第三次産業に従事するものが43%と最も大きな割合を占めており、第一次産業就業人口は、29%である。（表2.5.1参照）

Table 2.5.1
Employment by Sector

| Sector | 1981 | | 1986 | |
|--|-------|-------|-------|-------|
| | 000 | % | 000 | % |
| Agriculture, Livestock, Fishing | 1,083 | 30.7 | 1,026 | 28.5 |
| Mining and Quarrying | 19 | 0.5 | 24 | 0.7 |
| Manufacturing, Handicraft | 681 | 19.3 | 718 | 19.9 |
| Electricity, Gas, Steam, Water | 30 | 0.8 | 36 | 1.0 |
| Construction, Public Works | 293 | 8.3 | 235 | 6.5 |
| Commerce, Restaurants, Hotels | 529 | 15.0 | 562 | 15.6 |
| Transport, Warehousing, Communication | 274 | 7.8 | 238 | 6.6 |
| Banking Insurance, Real Estate | 117 | 3.3 | 139 | 3.9 |
| Other Services | 504 | 14.3 | 623 | 17.3 |
| Total | 3,530 | 100.0 | 3,601 | 100.0 |

Source: The Greek Economy in Figures, 1987 Electron Press Publications

失業率は、季節変動が大きく、5月から10月までの観光シーズン中では5%以下であるが、シーズンオフには10%以上に増加する。

一般的にいて、ギリシャは、労働組合の力が強い国であるが、最近の労働争議の件数は表2.5.2にみられるように着実に減少してきている。

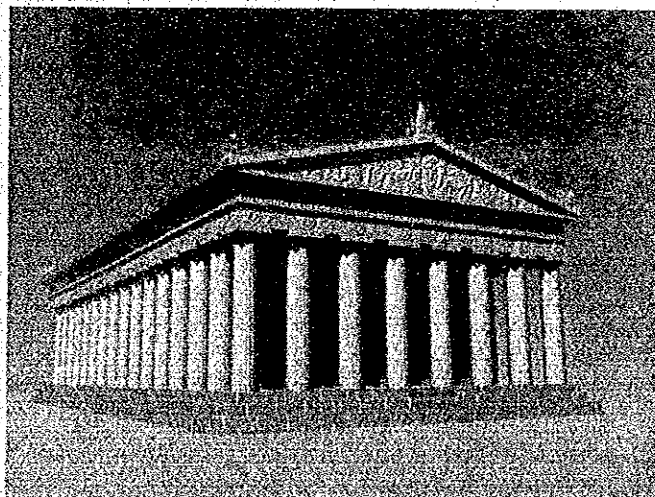
ギリシャは、全体的に失業率が高く、労働力不足といった問題はみられないが、過去には、労働争議による労働環境の不安定があった。ただし最近は、前述したように労働争議は減少し、環境も改善されてきている。

Table 2.5.2
Labour Dispute by Country

| Country/Year | No. of Incidents | No. of Participants (000) | No. of Participants/Incident | No. of Participants/Labour | Loss of Days (000) |
|---------------|------------------|---------------------------|------------------------------|----------------------------|--------------------|
| Greece 1980 | 726 | 1,408 | 1,939 | 0.4 | 2,907 |
| 1985 | 453 | 786 | 1,735 | 0.2 | 1,094 |
| 1986 | 213 | 1,106 | 5,193 | 0.3 | 1,263 |
| Spain 1986 | 914 | 858 | 939 | 0.06 | 2,280 |
| France 1986 | 1,391 | 22 | 16 | 0.001 | 568 |
| Italy 1986 | 1,469 | 3,607 | 2,455 | 0.15 | 5,643 |
| U.K. 1986 | 1,074 | 720 | 670 | 0.03 | 1,920 |
| Portugal 1986 | 476 | 199 | 418 | 0.04 | 275 |
| Austria 1986 | 11 | 3 | 273 | 0.001 | 3 |

Source: International Statistics Digest, Agency of General Affairs Japan, 1988

第3章 観光の概要



第3章 観光の概要

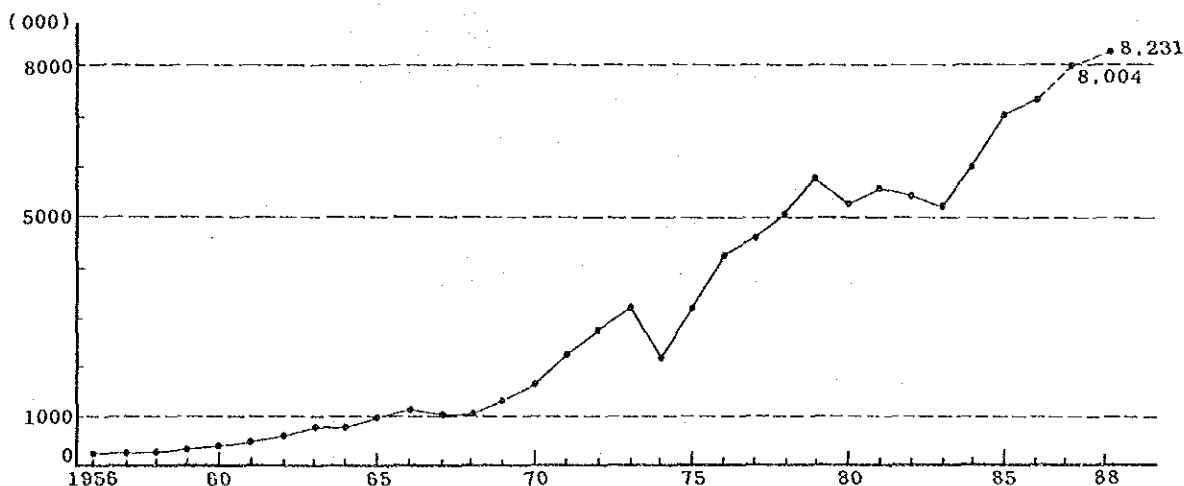
3.1 観光需要の特性

3.1.1 外国人観光客の推移

ギリシャへの外国人観光客の入国は、図3.1.1に示すように1960年代以降着実に増加している。1960年には、40万人にすぎなかったが、1970年には161万人、1980年には527万人、1985年には704万人となり、最近では1987年が800万4千人、1988年は823万1千人となっている。1974年、1980年、1982年、1983年の外国人観光客数は、前年に比べて減少しているが、この主な理由は、石油危機や世界的な景気の後退の影響によるものである。(図3.1.1参照)

ギリシャへの外国人観光客数は、1965年から1985年の間に、7.2倍の伸びをみせている。一方この間の世界貿易(輸出入の合計)の伸びは11.7倍、国際観光客総数は3.0倍、世界各国の総観光収入は11.7倍の増加である。以上の3つの指標とギリシャの外国人旅行客数との相関関係は不明確であるが、少なくとも世界経済の成長が国際観光の発展に大きく寄与していることは確かであると思われる。したがって世界経済の成長が順調であれば、ギリシャへの外国人観光客の需要ポテンシャルは今後とも増加していくものと考えられる。しかし、この需要を顕在化していくためには、ギリシャの観光産業における各種の改善が必要となる。

Figure 3.1.1
Trend of Total Tourist Arrivals
in Greece, 1956 - 1988



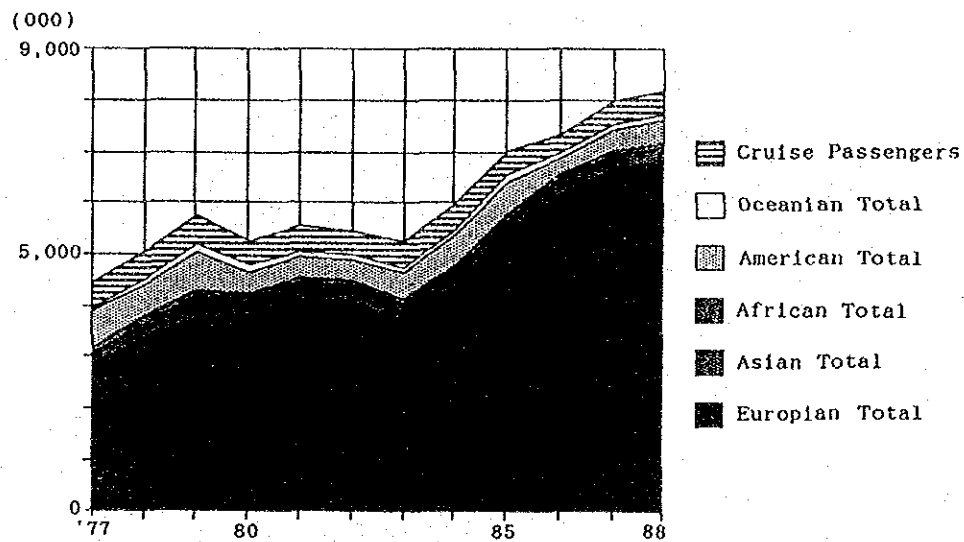
Source: GNTQ

3.1.2 国別外国人観光客数の推移

表3.1.1はギリシャに入国した外国人観光客数を国籍別にみたものである。まず、大きく大陸別に分けてみると、図3.1.2に示すように、ヨーロッパ諸国からの観光客が、圧倒的なシェア（1985年の65%から1986年には84%と大きく増加した）を占めている。次いでアメリカ大陸諸国からの観光客が大きな割合を占めているが、1977年では15%、1986年では4%とシェアの変動が大きい。ヨーロッパ諸国の中では、イギリスおよび西ドイツからの観光客が最も多く、最近においてもその地位は不動である。一般に国別の観光客の構成比の変動は大きく、前年比で±30%前後に及ぶこともめづらしくない。（図3.1.3参照）このような変動の主な原因には、次のようなものがある。

- ・1983年のユーゴスラヴィアおよびフランスからの観光客の減少は、両国の国外旅行規制の制度変更に伴うものである。
- ・1980年および1986年のアメリカからの観光客の減少は、第2次石油危機とハイジャック事件の影響である。

Figure 3.1.2
Trend of Total Tourist Arrivals
by Continent (1977-88)



Source: GNT0

Table 3.1.1
Tourist Arrivals by Country
(1977 - 1988)

| Country | 1977 | 1978 | 1979 | 1980 | 1981 | 1982 | 1983 | 1984 | 1985 | 1986 | 1987 | 1988 |
|---------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | Arrivals ('000) | Arrivals ('000) | Arrivals ('000) | Arrivals ('000) | Arrivals ('000) | Arrivals ('000) | Arrivals ('000) | Arrivals ('000) | Arrivals ('000) | Arrivals ('000) | Arrivals ('000) | Arrivals ('000) |
| 1. Austria | 132,453 | 150,717 | 151,570 | 107,312 | 146,818 | 144,032 | 195,381 | 237,918 | 282,468 | 292,720 | 305,000 | 311,000 |
| 2. Cyprus | 90,000 | 128,085 | 126,320 | 130,684 | 131,910 | 148,100 | 103,249 | 94,449 | 101,032 | 107,048 | 120,000 | 140,000 |
| 3. Denmark | 304,076 | 514,295 | 559,657 | 766,215 | 964,707 | 1,022,692 | 888,691 | 1,043,363 | 1,529,259 | 1,710,000 | 1,980,000 | 1,790,000 |
| 4. United Kingdom | 276,468 | 347,627 | 319,483 | 299,791 | 286,499 | 335,356 | 299,506 | 405,207 | 441,141 | 468,000 | 510,000 | 489,000 |
| 5. France | 489,522 | 520,547 | 555,171 | 692,961 | 625,121 | 606,046 | 728,478 | 864,800 | 1,050,078 | 1,120,000 | 1,205,000 | 1,382,000 |
| 6. Germany | 164,631 | 214,678 | 264,646 | 197,006 | 225,479 | 223,922 | 327,610 | 328,598 | 354,177 | 440,000 | 465,000 | 544,000 |
| 7. Italy | 25,729 | 24,174 | 51,247 | 32,906 | 31,979 | 27,331 | 31,021 | 37,091 | 48,791 | 45,000 | 50,000 | 62,000 |
| 8. Spain | 252,600 | 294,793 | 272,416 | 235,592 | 232,146 | 267,934 | 189,821 | 194,356 | 223,595 | 248,756 | 239,000 | 262,000 |
| 9. Sweden | 115,325 | 126,743 | 142,334 | 154,696 | 143,044 | 149,497 | 173,830 | 156,995 | 205,662 | 157,412 | 172,000 | 175,000 |
| 10. Switzerland | 490,699 | 514,329 | 572,774 | 477,393 | 629,071 | 575,553 | 55,375 | 263,209 | 359,735 | 466,467 | 420,000 | 388,000 |
| 11. Yugoslavia | 457,217 | 573,957 | 791,106 | 668,031 | 591,389 | 561,436 | 598,721 | 659,503 | 858,205 | 946,551 | 1,000,000 | 1,083,000 |
| 12. Rest of Europe | 2,679,622 | 3,372,355 | 3,757,727 | 3,042,587 | 4,144,777 | 4,121,010 | 3,790,709 | 4,410,226 | 5,408,296 | 6,193,554 | 6,678,000 | 8,311,000 |
| EUROPE TOTAL | 46,241 | 61,451 | 129,050 | 75,666 | 75,154 | 74,802 | 82,029 | 86,476 | 92,602 | 85,075 | 92,000 | 105,000 |
| 13. Japan | 15,267 | 36,059 | 76,155 | 31,270 | 45,581 | 31,347 | 37,725 | 31,887 | 18,227 | 26,000 | 37,000 | 34,000 |
| 14. Israel | 42,551 | 49,761 | 98,197 | 47,590 | 36,919 | 62,625 | 45,427 | 42,770 | 46,784 | 46,977 | 54,000 | 67,000 |
| 15. Turkey | 106,164 | 134,438 | 137,509 | 146,227 | 146,132 | 159,420 | 150,771 | 137,606 | 154,892 | 131,014 | 102,000 | 84,000 |
| 16. Rest of Asia | 210,253 | 281,789 | 440,911 | 300,761 | 305,026 | 288,194 | 325,415 | 296,739 | 294,705 | 291,066 | 285,000 | 281,000 |
| ASIA TOTAL | 46,036 | 50,810 | 42,048 | 50,067 | 33,725 | 31,219 | 37,725 | 43,415 | 50,991 | 55,284 | 62,000 | 62,000 |
| 17. Egypt-Sudan | 26,304 | 32,001 | 24,879 | 24,712 | 22,870 | 25,061 | 25,690 | 26,130 | 25,487 | 17,326 | 17,326 | 17,326 |
| 18. South Africa | 36,796 | 43,707 | 25,275 | 31,088 | 35,235 | 31,086 | 32,804 | 32,729 | 39,661 | 32,823 | 32,823 | 32,823 |
| 19. Rest of Africa | 109,136 | 126,310 | 92,202 | 106,667 | 91,848 | 67,066 | 96,219 | 101,274 | 114,139 | 85,433 | 81,000 | 95,000 |
| AFRICA TOTAL | 998,470 | 513,101 | 601,456 | 288,647 | 321,081 | 333,080 | 406,881 | 474,045 | 466,155 | 204,667 | 260,000 | 295,000 |
| 20. USA | 54,043 | 75,326 | 83,662 | 72,441 | 65,722 | 64,891 | 72,540 | 82,226 | 102,552 | 74,612 | 91,000 | 107,000 |
| 21. Canada | 33,042 | 45,571 | 79,077 | 49,500 | 50,094 | 40,461 | 38,046 | 43,114 | 50,772 | 42,176 | 47,000 | 42,000 |
| 22. Rest of America | 665,555 | 654,070 | 764,195 | 410,676 | 436,907 | 436,432 | 517,473 | 600,185 | 619,479 | 314,455 | 396,000 | 444,000 |
| AMERICA TOTAL | 60,649 | 91,149 | 133,540 | 110,609 | 100,622 | 85,886 | 83,230 | 96,953 | 121,894 | 116,272 | 124,000 | 142,000 |
| 23. Australia | 11,992 | 16,712 | 28,029 | 21,764 | 11,229 | 9,245 | 11,768 | 13,655 | 14,984 | 16,116 | 16,116 | 16,116 |
| 24. Rest of Oceania | 72,641 | 107,861 | 161,569 | 130,373 | 112,051 | 94,131 | 94,990 | 110,608 | 136,670 | 132,386 | 124,000 | 117,000 |
| OCEANIA TOTAL | 3,905 | 9,810 | 16,369 | 2,836 | 2,940 | 3,089 | 3,663 | 2,160 | 496 | 483 | 483 | 483 |
| 25. Unknown | 3,905 | 9,810 | 16,369 | 2,836 | 2,940 | 3,089 | 3,663 | 2,160 | 496 | 483 | 483 | 483 |
| TOTAL TOURISTS | 3,961,112 | 4,522,411 | 5,232,973 | 4,793,900 | 5,094,349 | 5,032,822 | 4,776,477 | 5,323,192 | 6,373,993 | 7,023,779 | 7,564,000 | 9,450,000 |
| CRUISE PASS. | 499,972 | 546,822 | 565,387 | 475,215 | 482,769 | 431,038 | 479,895 | 504,074 | 465,455 | 314,236 | 440,000 | 485,000 |
| GRAND TOTAL | 4,461,084 | 5,069,233 | 5,800,000 | 5,271,115 | 5,577,109 | 5,463,860 | 5,256,372 | 5,827,266 | 7,039,448 | 7,338,015 | 8,004,000 | 10,000,000 |

***not available

Table 3.1.2
Tourist Arrivals to Greece
by Nationality (1986 and 1988)

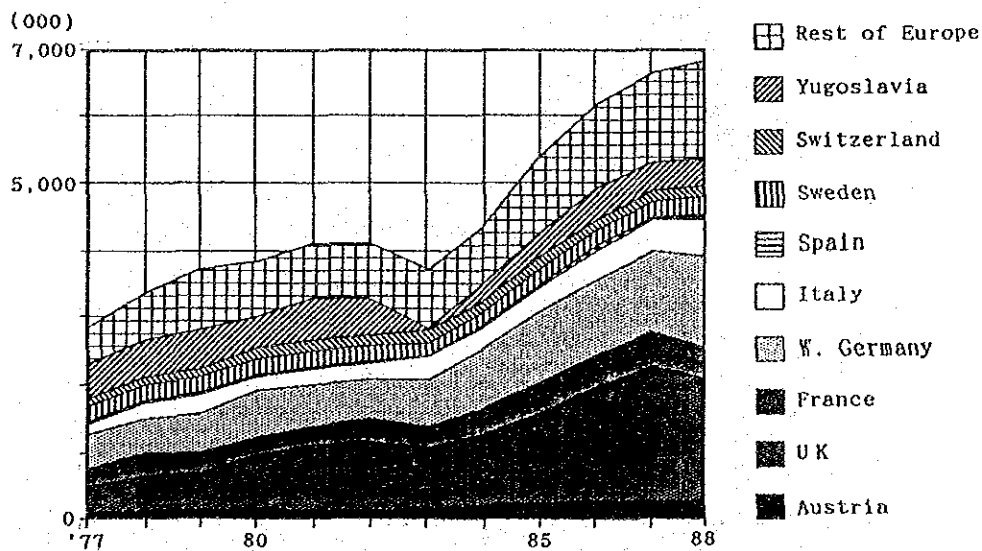
| Order | 1986 | | | 1988 | | |
|-------|----------------|-----------------|--------------|----------------|-----------------|--------------|
| | Nationality | Number (000) | Share (%) | Nationality | Number (000) | Share (%) |
| 1 | United Kingdom | 1,710 | 23.3 | United Kingdom | 1,790 | 21.8 |
| 2 | W. Germany | 1,145 | 15.6 | W. Germany | 1,382 | 16.8 |
| 3 | France | 468 | 6.4 | Italy | 544 | 6.6 |
| 4 | Yugoslavia | 467 | 6.4 | France | 469 | 5.7 |
| 5 | Italy | 440 | 6.0 | Netherlands | 382 | 4.7 |
| 6 | Netherlands | 330 | 4.5 | Yugoslavia | 345 | 4.2 |
| 7 | Austria | 293 | 4.0 | Austria | 311 | 3.8 |
| 8 | Sweden | 249 | 3.4 | U.S.A. | 295 | 3.6 |
| 9 | U.S.A. | 204 | 2.8 | Sweden | 253 | 3.1 |
| 10 | Denmark | 192 | 2.6 | Denmark | 235 | 2.9 |
| 11 | Finland | 167 | 2.3 | Finland | 198 | 2.4 |
| 12 | Switzerland | 158 | 2.1 | Switzerland | 175 | 2.1 |
| 13 | Norway | 157 | 2.1 | Belgium** | 175 | 2.1 |
| 14 | Australia* | 140 | 1.9 | Cyprus | 140 | 1.7 |
| 15 | Belgium** | 116 | 1.6 | Norway | 125 | 1.5 |
| 16 | Cyprus | 107 | 1.5 | Australia* | 123 | 1.5 |
| 17 | Japan | 85 | 1.2 | Canada | 107 | 1.3 |
| 18 | Canada | 74 | 1.0 | Japan | 105 | 1.3 |

* include New Zealand

** include Luxemburg

Source: GNTO

Figure 3.1.3
Trend of Tourist Arrivals
from European Countries (1977 - 1988)

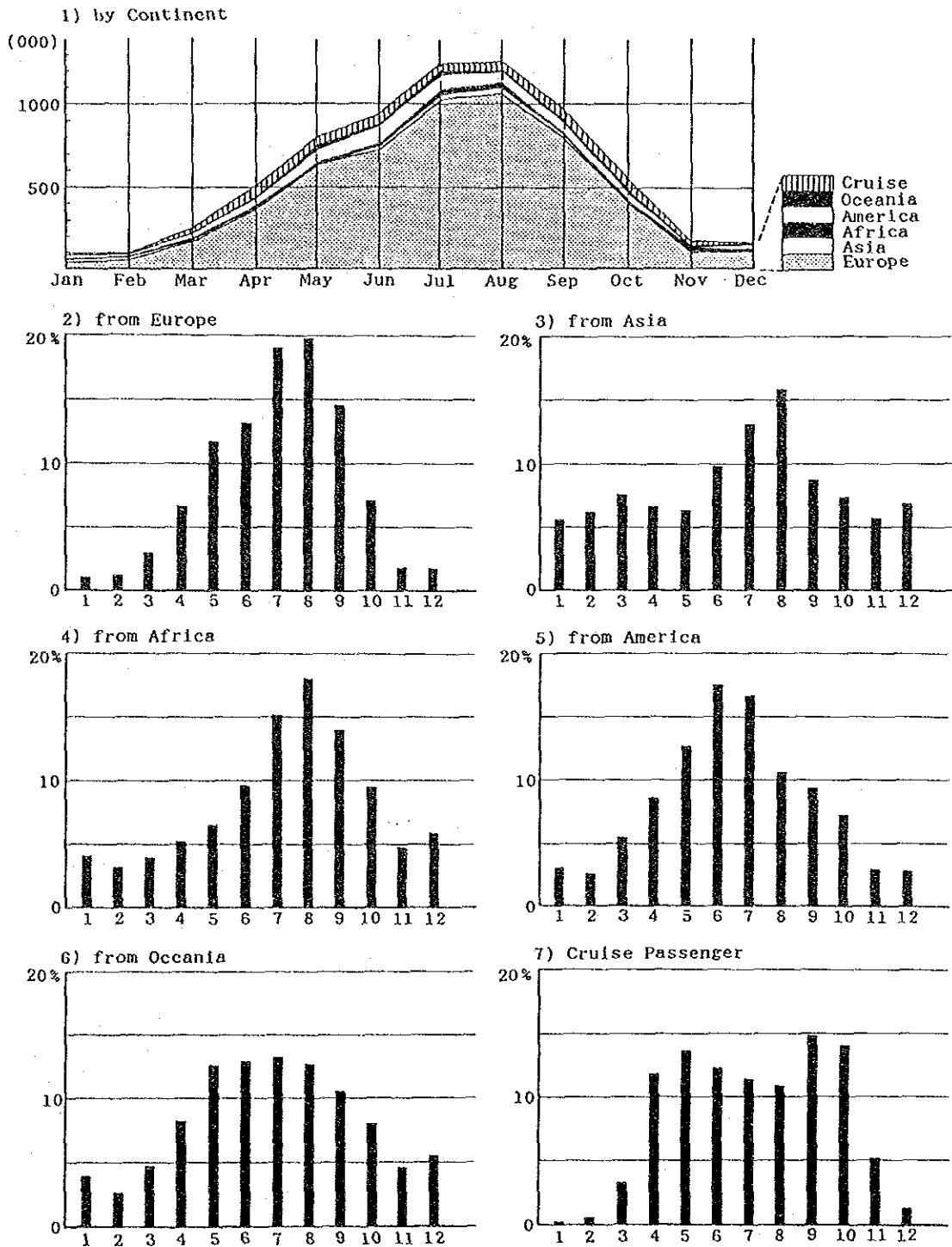


Source: GNTO

3.1.3 観光客数の季節変動

ギリシャを訪れる観光客数を月別にみると、7月および8月に大きなピークがあり、5月から9月の間に年間観光客数の74%が集中している。このような夏季の観光客の集中は、主にヨーロッパおよびアメリカからの観光客によってもたらされるもので、アジアからの観光客は、比較的通年に分散している。(図3.1.4参照)

Figure 3.1.4
Tourist Arrivals by Month, 1985



3.1.4 交通機関別旅行客数

ギリシャへの観光客が利用する交通機関は、70%が航空、15~20%が海路（クルージングの乗客を含む）、10~15%が道路であり、この他にわずかながら鉄道利用がある。過去10年間この利用割合は、ほとんど変化していない。各交通機関ごとの主要入国地点と、旅客数の割合は以下に示す通りである。

—航空利用

| | |
|--------------------|-------|
| Ellinikon (Athens) | : 34% |
| Herakleion (Crete) | : 11% |
| Rhodes | : 9% |
| Corfu | : 8% |

—海路

| | |
|-------|------|
| Patra | : 4% |
| Corfu | : 3% |

—道路

| | |
|--------|------|
| Euzoni | : 9% |
|--------|------|

航空利用客の中ではチャーター便の利用客が多く、特にヨーロッパ諸国からのチャーター便利用客は大きな割合を占めている。地域別にみたチャーター便の利用率は、以下に示す通りである。

| | |
|----------|--------------------|
| —ヨーロッパから | : 81.2% |
| —アジアから | : 3.5% (主にイスラエルから) |
| —アフリカから | : 17.8% |
| —アメリカから | : 6.3% |
| —オセアニアから | : — |

チャーター便利用旅客の割合が特に大きい国は、イギリス（93%）、西ドイツ（83%）、スカンジナビア諸国（79%）、フランス（76%）等である。

3.1.5 ホテル等への滞在状況

1) ホテルの種類および等級

外国人観光客の88%は、ホテルまたはそれに準じる宿泊施設に宿泊しており、その他は寄宿舍やキャンプ等への宿泊である。ホテル宿泊者の33%がAクラスホテルに、24%がBクラス、19%がCクラスホテルに、また10%がAAクラス（デラックス）ホテルに宿泊している。

2) 宿泊者の地域分布

ギリシャにおける宿泊者の地域分布は、表3.1.3に示す通りで、Ionian Islands, Aegean Islands, Crete の3地域の合計は、1984年の観光入込客数では35%、また延宿泊日数では58%を占めている。Greater Athens は、入込客数で32%、延宿泊日数で19%となっている。Crete, Rhodes 等の主要な島への宿泊は、1975年以降増加しているが、Athens での宿泊が減少傾向にある。

Table 3.1.3
Number of Tourists and Nights by Region, 1984

| Region | No. of Tourists (000) | | | No. of Nights Per Tourists | | No. of Nights (000) | | |
|-----------------------|-----------------------|------------------|-------------------|----------------------------|---------|---------------------|-------------------|-------------------|
| | Greek | Foreign | Total | Greek | Foreign | Greek | Foreign | Total |
| Greater Athens (%) | 876 (19.9) | 2,144 (31.5) | 3,021 (26.9) | 2.3 | 2.9 | 2,006 (18.2) | 6,292 (19.2) | 8,298 (18.9) |
| Central Greece (%) | 450 (10.2) | 486 (7.1) | 936 (8.3) | 3.2 | 4.0 | 1,420 (12.9) | 1,948 (5.9) | 3,369 (7.7) |
| Peloponnese (%) | 645 (14.6) | 929 (13.7) | 1,575 (14.0) | 2.3 | 2.7 | 1,476 (13.4) | 2,541 (7.7) | 4,018 (9.2) |
| Ionian Islands (%) | 171 (3.9) | 414 (6.1) | 585 (5.2) | 3.4 | 8.8 | 575 (5.2) | 3,628 (11.1) | 4,203 (9.6) |
| Epirus (%) | 259 (5.9) | 88 (1.3) | 347 (3.1) | 1.9 | 2.6 | 494 (4.5) | 233 (0.7) | 727 (1.7) |
| Thessaly (%) | 333 (7.5) | 219 (3.2) | 552 (4.9) | 2.3 | 2.3 | 761 (6.9) | 500 (1.5) | 1,260 (2.9) |
| Macedonia (%) | 1,012 (23.0) | 545 (8.0) | 1,558 (13.9) | 2.3 | 3.9 | 2,314 (21.0) | 2,137 (6.5) | 4,451 (10.2) |
| Thrace (%) | 192 (4.4) | 38 (0.6) | 230 (2.1) | 2.2 | 2.0 | 417 (3.8) | 76 (0.2) | 493 (1.1) |
| Aegean Island (%) | 258 (5.9) | 980 (14.4) | 1,238 (11.0) | 3.8 | 8.8 | 969 (8.8) | 8,629 (26.3) | 9,598 (21.9) |
| Crete (%) | 210 (4.8) | 966 (14.2) | 1,175 (10.5) | 2.8 | 7.1 | 585 (5.3) | 6,836 (20.8) | 7,422 (16.9) |
| Total(Average) (%) | 4,406 (100.0) | 6,809 (100.0) | 11,216 (100.0) | 2.5 | 4.8 | 11,017 (100.0) | 32,822 (100.0) | 43,839 (100.0) |

Source: Tourist Statistics (1984 and 1985);
National Statistical Service of Greece

3) 観光客の国籍別平均滞在日数等

1984年のホテル等での1人当り平均滞在日数は、ユーゴスラヴィア人の1.32日から、オーストリア人の15.21日とかなりの幅をもっているが、平均では5.45日である。

3.1.6 日本人観光客

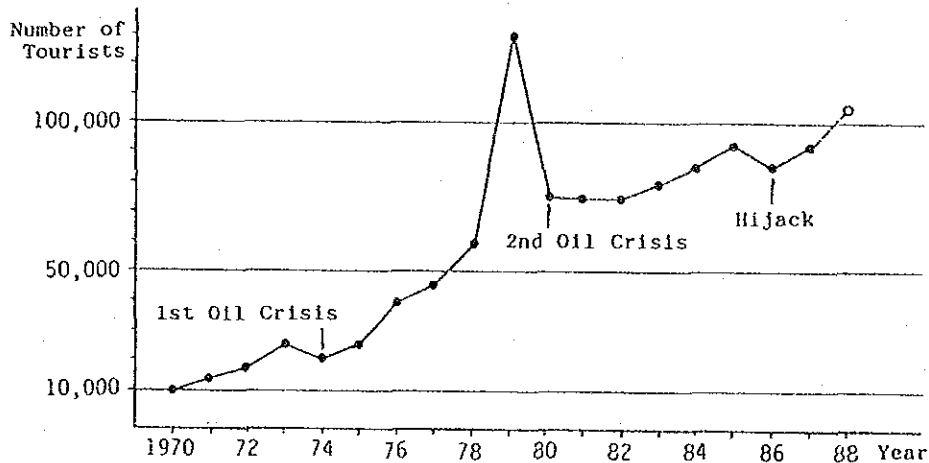
ギリシャへの日本人観光客の需要特性は次のようにまとめられる。

1) 観光客数の推移

ギリシャへの日本人観光客数は、1970年の1万人から1988年には10万5千人へと大きく増加している。この間の年平均伸び率は13.8%で、ギリシャへの全外国人観光客の伸び率（年率9.5%）に比べてかなり高くなっている。しかし、1980年以降だけで見ると、日本人観光客の伸び率は年率4.2%にすぎず、全外国人観光客の伸び率5.7%を下まわっている。

1979年の日本人観光客は、13万人と前年比約2倍に急増し、最近の1988年の観光客数をも大きく上まわっている。この観光客の急増は、ギリシャを題材とした池田満寿夫氏の小説およびその映画化のヒットの影響であるといわれている。

Figure 3.1.5
Trend of Japanese Tourist Arrivals
in Greece, 1970-1988



2) 日本人観光客のシェア

1980年代で見ると、日本人観光客は、ギリシャへの全外国人観光客のわずか1.0~1.5%を占めるにすぎない。

3) 日本人観光客の訪問地域

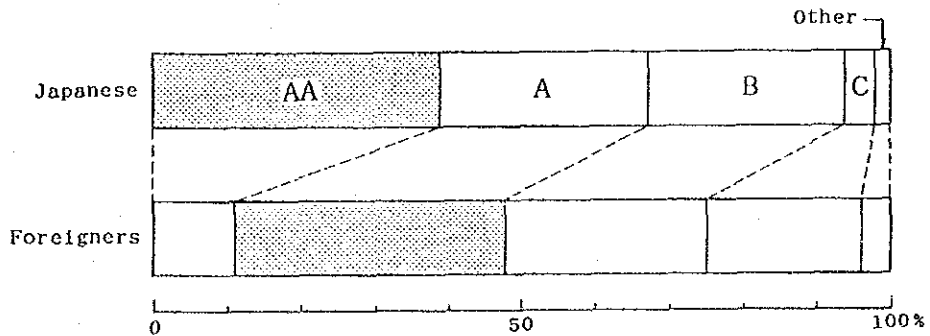
「地域および交通手段別観光客数」および「地域別ホテル宿泊者数」の2つの統計（共に1986年）によると、日本人観光客の Athens への集中がみられる。すなわち

- 日本人観光客の95%以上は、Ellinikon 空港（Athens）からギリシャに入国する。
- 日本人観光客の宿泊の87%は Athens 地域に集中しており、外国人観光客の同地域への宿泊が10%であるのと比較すると異常に高い集中度である。またこのような日本人観光客の Athens への集中は1980年以来ますます増大する傾向にあり、他の外国人観光客の Athens への宿泊が減少しているのと対照的である。

4) 宿泊施設の利用

日本人観光客は、図 3.1.6 に示すように、他の外国人観光客に比べて A クラス（デラックス）のホテルを好む傾向が強い。

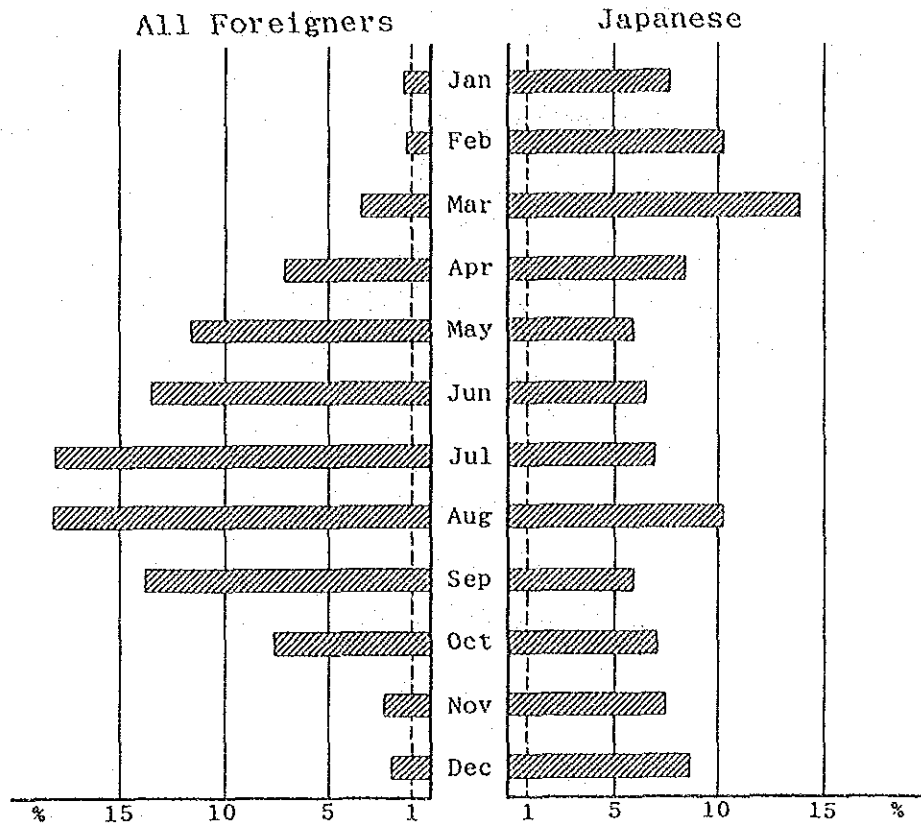
Figure 3.1.6
Share of Nights Spent by Japanese and Foreigners
by Accommodation Class, 1985



5) 観光客の季節変動

日本人観光客の旅行シーズンは、他の外国人客と比べて著しく異っている。図 3.1.7 にみられるように、夏季に集中する一般の外国人観光客と異なり、年間を通して平均的に観光客があることが特徴で、小さなピークがそれぞれ 2 月、3 月、8 月にみられる。

Figure 3.1.7
Monthly Variation of Japanese Tourist Arrivals, 1985



6) 1979年における日本人観光客の特性

1979年に訪れた日本人観光客の旅行特性は、次の通りである。

—1979年の日本人入込客数は、12万9千人で、対前年伸び率は110%であった。

—ホテル等の宿泊施設への総宿泊日数は、33%の増加にとどまり、平均宿泊日数は減少している。各年の平均宿泊日数は次のように推計される。

1977年：3.28日

1978年：2.90日

1979年：1.83日

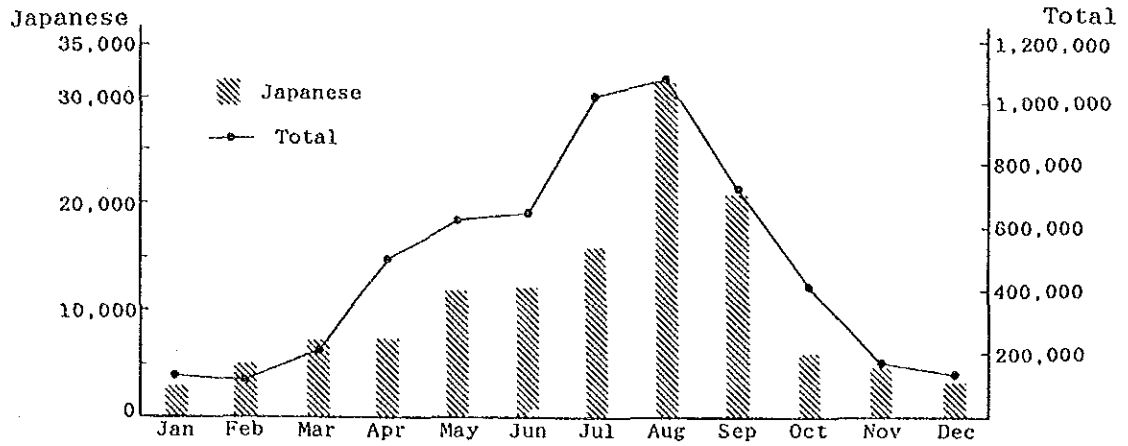
1980年：2.80日

1985年：2.77日

—ホテル等への地域別宿泊日数については、1978年から1980年の3年のみが Rhodes への宿泊シェアが7~9%と高まっているが、最近は3%台に減少している。

—1979年の月別入込客数の変動パターンは、他の外国人客と類似している。
(図3.1.8参照)

Figure 3.1.8
Monthly Variation of Tourist Arrivals, 1979



3. 2 観光がギリシャ経済へ及ぼす影響

3. 2. 1 観光収入

1988年の貿易外収入としての観光収入（クルーズ船、クレジットカード等の支払いを含む）は、38億4,000万USドルに達した。これは、1987年の34億8,000万USドルに比べて10.3%の増加であり、貿易外収入の41%、総輸出額（貿易及び貿易外収入）の25%を占めている。

GNPに占める観光収入の割合は、1960年代の3%以下から現在では、7%を越えるまで着実に増加している。（表3.2.1、図3.2.1参照）しかしながら、石油危機後の世界的不況によって、1980年代前半には外国人観光客は一時減少した。また、インフレによるドラクマ通貨の切り下げは、観光収入にも影響を与えた。

Table 3.2.1
GNP & Tourism Receipt

| Item | 1975 | 1981 | 1982 | 1983 | 1984 | 1985 | 1986 | 1987 | 1988 |
|------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1) GNP (US\$ Billion) | 21.5 | 33.1 | 39.4 | 35.4 | 33.8 | 33.1 | 39.3 | 47.0 | n.a |
| 2) Tourism Receipts: ^{1/} | | | | | | | | | |
| -US\$ billion | 1.0 | 2.8 | 2.3 | 1.8 | 2.0 | 2.1 | 2.7 | 3.48 | 3.84 |
| -% to GNP | 4.7 | 7.3 | 5.8 | 5.1 | 5.9 | 6.3 | 6.9 | 7.4 | n.a |
| 3) No. of tourists (thousand) | 3,173 | 5,577 | 5,463 | 5,258 | 6,027 | 7,039 | 7,340 | 8,004 | 8,231 |
| 4) Receipts per tourist (US\$) | 304 | 506 | 419 | 335 | 327 | 304 | 375 | 435 | 467 |

Source: Greek Economy Today, Min. of National Economy

^{1/} Tourism receipts were estimated by taking into account of the portion of other items under invisible receipts which can be attributed to tourism as shown in Appendix 3A.

Figure 3.2.1
Trend of Tourist Arrivals and GNP

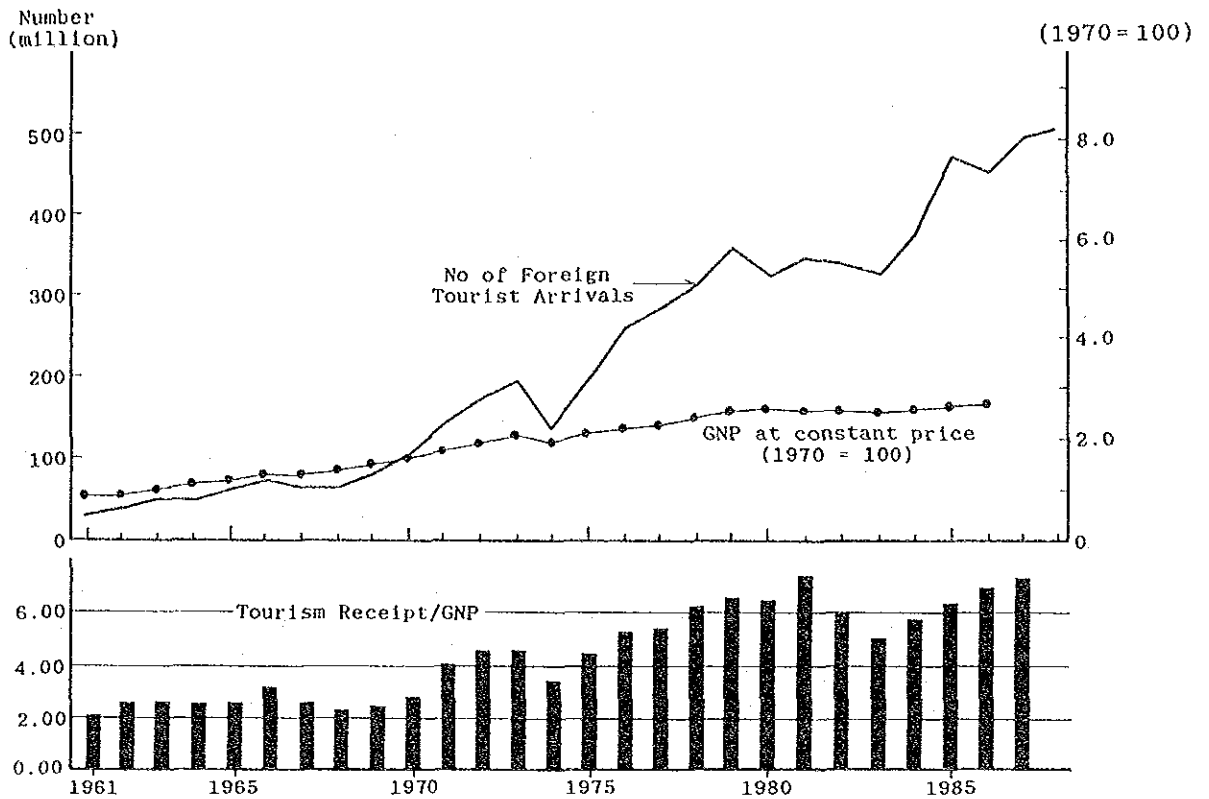


表 3.2.2 は、インフレ及び通貨変動の影響を補正した、主な OECD 諸国の観光収入を示している。1983年以降、ギリシャの観光収入は着実に増加しているが、1981年レベルに戻ったのは1986年になってからである。

実質価格でのギリシャの外国人旅行者一人当たりの消費額は、表 3.2.3 に示すように1981年以来減少が著しい。

1960年以降、観光収入の対 GNP 比率は、着実に増加を続けているが、ギリシャでの外国人旅行者の一人当たり消費額は、近年減少している。

Table 3.2.2
Trends of International Tourism Receipts by Major OECD Country,
Index in Real Prices

| Country | 1981 = 100 | | | | | |
|-------------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 1982 | 1983 | 1984 | 1985 | 1986 | 1987 |
| Greece | 82.2 | 69.6 | 84.1 | 94.5 | 100.7 | 104.8 |
| Spain | 109.5 | 122.5 | 139.5 | 141.9 | 158.5 | 164.3 |
| Portugal | 91.7 | 97.4 | 113.7 | 130.1 | 142.4 | 167.7 |
| Italy | 112.2 | 118.5 | 117.4 | 118.8 | 98.4 | 100.7 |
| France | 126.3 | 138.0 | 155.3 | 157.9 | 144.0 | 149.4 |
| Austria | 98.7 | 95.1 | 96.3 | 96.9 | 96.0 | 98.1 |
| Switzerland | 97.4 | 102.1 | 111.1 | 111.9 | 109.3 | 113.6 |
| W. Germany | 94.4 | 97.0 | 104.8 | 115.7 | 113.9 | 116.0 |
| Netherland | 95.3 | 94.3 | 107.4 | 106.1 | 99.5 | 100.2 |
| Belgium/Luxemburg | 112.5 | 127.3 | 131.2 | 128.5 | 130.2 | 145.9 |
| United Kingdom | 99.1 | 119.2 | 131.1 | 147.0 | 140.5 | 153.4 |
| Ireland | 127.7 | 127.5 | 134.5 | 151.6 | 138.6 | 155.3 |
| Iceland | 129.1 | 154.5 | 190.0 | 231.0 | 263.8 | 297.5 |
| Finland | 85.2 | 77.9 | 77.5 | 77.2 | 72.6 | 82.0 |
| Norway | 96.1 | 92.1 | 94.8 | 108.0 | 113.5 | 111.9 |
| Sweden | 119.0 | 139.8 | 145.7 | 148.2 | 152.8 | 170.5 |
| Denmark | 110.3 | 113.4 | 119.3 | 119.4 | 116.8 | 119.7 |

Source: Tourism Policy and International Tourism, OECD 1987 & 1988

Table 3.2.3
Tourist Per Capita Expenditure in Real Price

| | 1981 | 1982 | 1983 | 1984 | 1985 | 1986 | 1987 |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| Tourist Arrivals in Real Price (1981=100) | 100.0 | 82.2 | 69.6 | 84.1 | 94.5 | 100.7 | 104.8 |
| Tourist Arrivals (thousand) | 5,577 | 5,463 | 5,258 | 6,027 | 7,039 | 7,340 | 8,004 |
| Per Capita Expenditure (1981=100) | 100.0 | 83.9 | 73.8 | 77.8 | 74.9 | 76.5 | 73.0 |

Source: GNTO
Tourism Policy and International Tourism, OECD 1987 & 1988

3.2.2 観光収入による税収

ギリシャの税金は、以下の各種税金から成る。

(a) 直接税：所得税（個人所得税、法人所得税、特殊所得税）

その他直接税

(b) 間接税：関税

消費税（取引高税、付加価値税、燃料、車両他）

移転税（資本移転、印紙税、銀行業務）

その他間接税

1987年、国家税収は、1兆6,070億ドラクマ、うち直接税28%、間接税72%であった。（Appendix 3B参照）付加価値税はギリシャでは、1987年1月から導入され、同年のこれによる税収は、全税収の31%に達した。付加価値税は、外国人に対しては免税制度がある。付加価値税の概要及び外国人に対する免税条件は、Appendix 3Eを参照されたい。

外国人観光収入による税収としては、付加価値税が主なものである。1988年の観光収入からの付加価値税は、表3.2.4の通り約4億3,300万USドル、即ち観光収入総額（38億USドル）の12.7%である。

観光収入からの付加価値税は、付加価値税全体の約11%、また政府税収入の3.5%に達する。

Table 3.2.4
Tourist Revenue by Expenditure Item, 1988

| Items | Amount Spent | | Tax Revenue | |
|--|--------------|-------|-------------|--------------|
| | US\$ Million | (%) | Rate (%) | US\$ Million |
| Accommodation | 1,709.7 | 44.5 | 10.8 | 166.2 |
| Excursion | 557.1 | 14.5 | 6.0 | 31.5 |
| Purchase of Goods Foods & Beverages | 691.6 | 18.0 | 16.0 | 95.4 |
| Outside Hotel | 461.0 | 12.0 | 16.0 | 63.6 |
| Entertainment | 195.9 | 5.1 | 30.0 | 45.2 |
| Miscellaneous | 226.7 | 5.9 | 16.0 | 31.3 |
| Total | 3,842.0 | 100.0 | 12.7 | 433.2 |

Source: GNTO

3.2.3 観光と雇用

1) 観光セクターの雇用

観光セクターにおける雇用については十分な資料がないが、GNTOの関係者によると、直接的雇用は210,000人、間接的雇用は100,000人と推定されている。一方OECDの資料によると、ギリシャでは約170,000人がホテル業に雇用され、サービス業の従業者数全体(125万人、1978年)の13.5%にあたとされている。さらにホテル業労働者と全観光業労働者との割合は、OECDの資料によると、オーストリア、イタリア等割合が高い国で1対2、スイス等低い国で1対4である。

ギリシャでは、この割合を1対2と想定するとホテル業労働者210,000人、観光業労働者420,000人と推定される。この意味からもギリシャ全体の雇用にとって、観光セクターは、重要であると思われる。

観光セクターの雇用統計の更新整備は、更に効率的な観光開発を推進するのに重要である。

2) 労働力供給及び教育制度

近年、ギリシャでは失業率が比較的高いため、観光セクターにとって労働力供給は量的には深刻な問題ではない。しかしながら、質の面での需要は、重要な問題になりつつある。

ギリシャには、観光活動の様々な分野の教育及び訓練をする研修所、学校が数多くある。表3.2.5に示すように Technical Educational Institute (TEI) には、様々な課程があり、多くの地域のホテルのマネージャーレベルの人員を供給している。そのなかでも特に経営、経済学校は、1985/86年度で3,090人の観光企業学部 (Tourist Enterprises Dept.) 学生を供給している。

ホテル、調理業での職業訓練は、基本的な訓練は観光業学校 (STE) で実施されており、高度な訓練は技術職業訓練センター (KATEE) で実施されている。

労働局 (O.A.E.D.) はGNTOと共同で、失業中の資格をもたない労働者のために給仕係、客室係育成の速成訓練課程を開始した。この課程は、40日間の現地コースで行なわれている。

GNTOは、STE及びKATEEの課程の格上げ改善、Corfuでの料理技術の上級科の設立、又教育者用の研修旅行、セミナーの拡大等によって観光労働者の質を高めようと努めている。

観光セクターでは、労働力の教育訓練システムが重要視されているように思われる。

Table 3.2.5
Outline of Technical Educational Institutions (TEI)

| Location | No. of Students 1985/86 | Available Departments | | | | |
|--------------|----------------------------|--------------------------|---|---|---|---|
| Athens | 22,000 | A | B | C | D | E |
| Herakleion | 4,844 | A | B | C | E | |
| Thessaloniki | 8,295 | A | B | C | F | E |
| Kavala | 1,800 | A | C | F | | |
| Kozani | 2,380 | A | C | F | | |
| Larissa | 6,837 | A | F | B | C | |
| Mesolonghi | 2,291 | F | B | C | | |
| Patras | 4,456 | A | F | B | C | |
| Piraeus | 7,304 | A | G | | | |
| Serres | 2,217 | A | C | | | |
| Chalkis | 2,700 | A | C | | | |
| Total | 65,124 | | | | | |

| Type of TEI | No. of Students 1985/86 |
|---|----------------------------|
| A. School of Technological Applications | 18,461 |
| B. School of Health and Welfare Professions | 16,025 |
| C. School for Administration and Economy | |
| a. Business Administration Dept. | 5,281 |
| b. Marketing & Advertising Dept. | 848 |
| c. Accountancy Dept. | 8,335 |
| d. Library Classification Dept. | 1,001 |
| e. Tourist Enterprises Dept. | 3,090 |
| f. Health and Welfare Units Administration Dept. | 404 |
| g. Cooperative Organization & Operation Dept. | 551 |
| Subtotal | 19,510 |
| D. School of Graphic Arts and Artistic Studies | 1,429 |
| E. School for Technology of Foodstuff and Nutrition | 1,643 |
| F. School of Technology and Agronomy | 6,847 |
| G. School of Business Administration | 1,209 |
| Total | 65,124 |

Source: Special Technical College Service, Min. of Education

3.2.4 日本人旅行者の消費

ギリシャへの日本人旅行者は、ハネムーン、OL、学生、業務出張者、その他の5つの主要セグメントに分類される。1988年におけるセグメント別のギリシャ旅行者数は、それぞれ33,000、11,000、13,000、21,000、27,000人であったと推定される。

本調査によると、日本人観光客のギリシャ平均滞在日数は2.17日である。出張者を除く日本人観光客の典型的日程は、図3.2.2に示されるようなものである。

Figure 3.2.2 Typical Itinerary of Japanese Tourists in Greece

| | AM | PM | Stay |
|---------|------------|-----------------------|--------|
| 1st day | Ar. Athens | Sightseeing in Athens | Athens |
| 2nd day | | One-day Cruise | Athens |
| 3rd day | Ly. Athens | | |

ハネムーン、OL、学生、その他観光客が上記日程で行動し、業務出張者がギリシャに平均3.5日滞在すると想定して、表3.2.6にセグメント別平均消費額を計算した。

Table 3.2.6
Expenditure of Japanese Tourists per Stay per Person
by Market Segment

| | Honey- mooner | Female Office Worker | Student | Business- man | Others |
|--|------------------|----------------------------|---------|------------------|--------|
| 1. Number of Nights in Greece | 2.1 | 2.1 | 2.0 | 3.5 | 2.3 |
| 2. Expenditure per Person (thousands Yen) | | | | | |
| Air Fare | 15 | 15 | 10 | 30 | 15 |
| Domestic Transportation | 7 | 7 | 7 | 12 | 7 |
| Accommodation | 10 | 7 | 6 | 41 | 8 |
| Food & Beverages | 5 | 5 | 2 | 18 | 5 |
| Purchase of Goods | 45 | 39 | 10 | 60 | 72 |
| Miscellaneous | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| Total | 83 | 74 | 35 | 161 | 108 |

Source: Estimated by the Study Team based on available information
Note : Items of expenditure are explained in Appendix 3.D.

1日1人当たりの平均消費額は、ハネムーン、OL、学生、出張者、その他観光客それぞれ83,000円、74,000円、35,000円、161,000円、108,000円であると見積られる。

上記想定と見積りに基づいて表3.2.7で日本人旅行者の1人当たり平均消費額を他の外国人旅行者の平均消費額と比較した。日本人旅行者の消費額は、他の外国人旅行者より高い。日本人は1日当たり324USドル、1滞在当たり777USドル消費するのに対し、外国人は1滞在当たり464USドル消費する。即ち、1滞在あたり日本人は、外国人の1.7倍消費することになる。

項目別の消費では、日本人は51%を土産品等の購入に当てるのに対し、他の外国人は17%である。

ギリシャへの日本人旅行者105,000人(1988年)の全消費額を表3.2.8に示した。1988年の日本人の全消費額は、約8,200万USドル、これはギリシャへの外国人旅行者からの全収入の約2.1%に当たる。(日本人旅行者数は、全体の1.3%である。)

Table 3.2.7
Estimated Average Expenditure by Japanese and
Other Foreign Tourists, 1988

| Item | Per Night | | Per Stay | | |
|------------------------------------|--------------------|--------------------|----------|------------------------------|-----|
| | Japanese (US\$) | Japanese (US\$) | % | Other Foreigner (US\$) | % |
| Accommodation | 49 | 118 | 15 | 210 | 46 |
| Transportation /Entertainment | 84 | 203 | 27 | 66 | 14 |
| Purchase of Goods | 165 | 397 | 51 | 80 | 17 |
| Foods & Beverages Outside Hotel | 24 | 56 | 7 | 56 | 12 |
| Miscellaneous | 2 | 3 | 0 | 52 | 11 |
| Total: | 324 | 777 | 100 | 464 | 100 |

Source: Estimated by the Study Team based on available
information

Table 3.2.8
Tourism Expenditure by Japanese and
Other Foreign Tourists, 1988

(US\$ Million)

| Item | Japanese Tourists | Other Foreign Tourists | Total |
|------------------------------------|----------------------|---------------------------|---------------------|
| Accommodation | 12.3 | 1,697.4 | 1,709.7 |
| Transportation | 21.3 | 535.8 | 557.1 |
| Purchase of Goods | 41.7 | 649.9 | 691.6 |
| Foods & Beverages Outside Hotel | 5.9 | 455.1 | 461.0 |
| Miscellaneous | 0.4 | 422.2 | 422.6 |
| Total | 81.6 (2.1%) | 3,760.4 (97.9%) | 3,842.0 (100.0%) |

Source: Estimated by the Study Team based on the available information.

日本人消費額の最終受取人

日本人消費の最終受取人は、ギリシャ観光業界だけではない。

表3.2.9に、宿泊項目における経費の配分とその経費への投入源を示した。宿泊の経費支出は、人件費、飲食材購入、維持管理費等に分類される。表3.2.9に示したようにこれらの経費のうち90%は国内で供給され、10%は海外から調達されると推定される。宿泊項目以外の経費については、Appendix3Eを参照されたい。

大まかに推定すると、表3.2.10に示すように、日本人旅行者の全消費額のうち約83%についてはギリシャに残り、17%は外国へ流失すると思われる。

ギリシャにとって観光収入の漏出を最小限に留めることが重要である。

Table 3.2.9
Expense Categories and Input Source for Accommodations

| Expense Category 1/ | | Domestic Input | Foreign 2/ Input |
|-----------------------------------|-----|-------------------|---------------------|
| Personnel expenses | 40% | 40% | |
| Purchase of food & beverages | 13 | 10 | 3 |
| Maintenance 3/ | 13 | 13 | |
| Other operating expenses | 12 | 10 | 2 |
| Financial expenses & profit 4/ | 22 | 17 | 5 |
| Total | 100 | 90 | 10 |

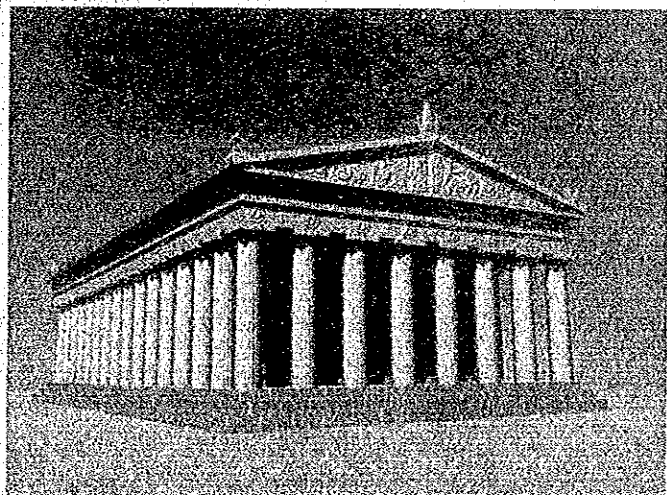
- 1/ Source: Tourism in Greece Business 1989
 2/ Estimated by the Study Team based on Input-output Table of the Greek Economy, 1970 (Center of Planning and Economic Research, 1980)
 3/ Including electricity, water telephone, cleaning, etc.
 4/ Including interest, depreciation, etc.

Table 3.2.10
Japanese Tourist Expenditure in Greece by Final Recipient Country

| Expenditure Item | Total Expenditure | | Domestic Input | Foreign Input | Final Greece | Recipient Other Countries |
|----------------------------|----------------------|-----|-------------------|------------------|-----------------|---------------------------------|
| | US\$ million | % | % | % | % | % |
| Accommodation | 12.3 | 15 | 90 | 10 | 14 | 1 |
| Air Fare | 14.4 | 18 | 60 | 40 | 11 | 7 |
| Domestic Transportation | 6.8 | 8 | 70 | 30 | 5 | 3 |
| Purchase of goods | 41.7 | 51 | 90 | 10 | 46 | 5 |
| Food & Beverages | 5.9 | 7 | 90 | 10 | 6 | 1 |
| Miscellaneous | 0.4 | 1 | 100 | 0 | 1 | 0 |
| Total | 81.6 | 100 | | | 83 | 17 |

Source: Estimated by the Study Team based on the available information

第4章 ギリシャの観光政策



第4章 ギリシャの観光政策

4.1 組織と実施体制

ギリシャの国レベルの観光政策の実施機関はギリシャ政府観光局（GNTO）である。GNTOは1951年に設立され、国家経済省のもとで観光振興施策全般を取扱う独立組織である。

GNTOが観光に関するあらゆる計画や振興策を担当する中心的な機関ではあるが、観光は直接、間接に非常に広い分野に関連を持つため、その関係省庁は多岐にわたる。

そこで、観光セクターに関連する、全省庁間の業務調整を図るために以下のようなメンバーで構成される多省庁間会議が構成されている。

Chairman : Undersecretary, Minister of National Economy

Members : Secretary-General of;

Minister of Culture

Minister of Public Order

Minister of Agriculture

Minister of Trade

Minister of Transport and Communications

Minister of Merchant Marine

A representative of Minister of Foreign Affairs

この会議で討議される内容の項目をまとめると表4.1.1のとおりである。

4.2 主要施策

1983/1987 経済社会開発5カ年計画は、ギリシャ政府の経済再建計画の基本施策を示すものである。

ギリシャの観光政策は、「経済社会5カ年計画」（1983-87）の中で基本的な方向づけがなされており、同計画で、観光に係る部分の目標は以下の3点にまとめられている。

- ① 提供されるサービスの質の向上によるギリシャ観光の国際競争力の増大
- ② 遊休施設または利用率の低い施設の活用
- ③ バランスのとれた供給の実現

1988年から始まる第二次5カ年計画は現在国会で審議中であるが、観光セクターに関する限り、前5カ年計画のポリシーは受継られており、加えて以下の方向が打ち出されている。

- ① 日本、カナダ、オーストラリア、南米といった新しい市場の開拓

Table 4.1.1
Subjects Coordinated by Inter-Ministerial Council

| Area | Subjects | Area | Subjects |
|-------------------------------|---|--|---|
| 1. YOUTH | <ol style="list-style-type: none"> 1) Tourism for young people 2) Social tourism in the interior 3) Youth hostels 4) International youth organizations 5) Special youthful activities, youthful initiatives, farm tourism 6) Eclectic tourism | 9. MERCANTILE MARINE | <ol style="list-style-type: none"> 1) The coastal service 2) Cruise ships 3) Professional yachts 4) Commercial ports 5) Servicing marineresort events |
| 2. EMIGRANT GREEK COMMUNITIES | <ol style="list-style-type: none"> 1) Investment by emigrant Greeks in tourism 2) Travel facilities for emigrant Greeks 3) Emigrant communities; publicity, events, conferences for emigrants 4) "Tourist villages" of local/national Associations of Emigrants 5) Programme for elder generation | 10. EQUALITY OF THE SEXES | <ol style="list-style-type: none"> 1) Initiatives by women's groups 2) Initiatives by groups of women farmers; (Agro-Tourist Cooperatives) 3) Vocational training of women in tourism matters |
| 3. SPORT | <ol style="list-style-type: none"> 1) Development of sport tourism 2) International sport events 3) Attraction to Greece of foreign sport events 4) Publicity for sport events 5) The 1996 Olympics | 11. FOREIGN AFFAIRS | <ol style="list-style-type: none"> 1) Greek-Turkish relations 2) Bilateral relations of various countries with Greece 3) Bilateral economic relations |
| 4. CULTURE | <ol style="list-style-type: none"> 1) Museums and archaeological sites 2) Prices of admission tickets 3) Excavations, exploitation of archaeological sites 4) Subsidies to cultural societies 5) Conferences | 12. INTERIOR | <ol style="list-style-type: none"> 1) Development initiatives by local authorities in tourism sector 2) Municipal and communal tax revenue 3) Committees for tourism 4) Financial aid to local authorities for various projects 5) Tourist entertainment events 6) Technical aid to local authorities |
| 5. PUBLIC ORDER | <ol style="list-style-type: none"> 1) Environmental control of tourism areas (prevention of noise, etc.) 2) Reconstitution of the special Tourist Police 3) Security at airports 4) Passport control at entry points | 13. FINANCE | <ol style="list-style-type: none"> 1) Taxation of all forms of tourist accommodation 2) VAT on yachts 3) Customs formalities 4) Airport fees 5) Tax exemptions in relation to tourist areas |
| 6. AGRICULTURE | <ol style="list-style-type: none"> 1) Farm tourism 2) Tourism exploitation of forestland 3) Fixing of ones of intensive farming cultivation/prohibition of use 4) Riding clubs; equestrian tourism 5) Eclectic tourism; plans for management of waterfowl reserves 6) Protection of the fauna | 14. LABOUR | <ol style="list-style-type: none"> 1) Collective labour agreements concerning hotel staff, guides, tourist motorcoach drivers labour issues 2) EEC regulations concerning various labour 3) Subsidies to those employed in tourist accommodation 4) Training courses for hotel staff (in consultation with O.A.E.D. and the special) |
| 7. TRADE | <ol style="list-style-type: none"> 1) Recreation centres (classification and supervision) 2) Pricing of popular art goods (checks on quality and overpricing) | 15. ENVIRONMENT-AREA PLANNING-PUBLIC WORKS | <ol style="list-style-type: none"> 1) Building regulations concerning tourist accommodation 2) Legislation concerning unlicensed constructions 3) Road construction (in conjunction with Prefectures) 4) Improvements and airport works (in consultation with Civil Aviation Service) 5) Environmental protection-beaches, etc. 6) Eclectic tourism |
| 8. TRANSPORT | <ol style="list-style-type: none"> 1) Transportation by air (in consultation with the Civil Aviation service and Olympic Airways) 2) Olympic Airways air fares 3) International overland transportation (in consultation with the State Railways) 4) Tourist motorcoaches 5) Urban and trunkline bus services 6) Rent-a-cars 7) Taxis 8) Trunkline terminals 9) All EEC subject concerning transportation 10) Airport fees 11) Rail transportation (in consultation with the State Railways) | | |

② 高価格（高級）層の誘致

③ インセンティブ（企業）旅行の積極的開発

上記の目的を実現するため、最近講じられている施策は以下のとおりである。

a) 宿泊施設・飲食施設の整備

- ・ホテルのランク分け
- ・レストランのランク分けの見直し
- ・キャンプ場の改善

b) 職業訓練

- ・旅行業者養成学校の課程の質の向上及び期間の延長
- ・職業訓練のためのセミナー開催
- ・労働者雇用機構（The Organization for Employment of the Labour Potential, O A E D）による職業訓練プログラムの実施

c) 新しい観光形態の開発

- ・健康観光産業の育成—温泉の開発（G N T O が 1 億ドラクマを費やす）
- ・海洋レジャー、国際会議、ウインタースポーツ等、新しいタイプの観光開発の推進
- ・タイム・シェアリング制度のための新法の制定
- ・サマー&ウインター・ホリデー・プログラムの実施
- ・国内観光の奨励（ピーク時以外の期間は全観光施設の利用費が20%割引等）
- ・観光インフラ整備に対する融資
 - ・ヘルス・ツーリスト・センター、ウインター・スポーツ・センター及びマリナーナ建設
 - ・伝統的施設、ハイウェイ・ステーション、レクリエーション地区、ゴルフコース等の開発
- ・E C 特別プログラムの実施

(注) タイム・シェアリング制度とは、5年から60年の期間を設定し、年間最低1週間滞在するために、好みの施設をレンタルする制度。

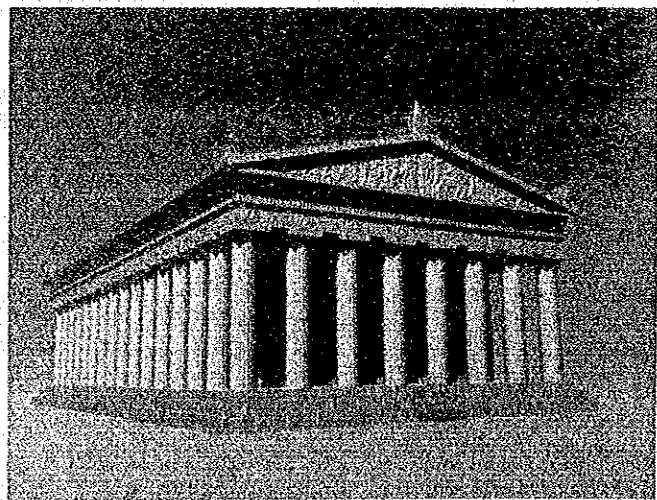
d) 環境保全対策

- ・遺跡の保護のための住居の移設奨励
- ・環境保全法の制定及び手続規定の整備
- ・ヨーロッパ環境年の会議に参加

e) 助成制度

- ・ホテル、観光施設等の施設の改良・近代化、温水プールの建設等に対する助成金の交付
- ・ホテル収入や旅行業者の外国宣伝費等に対する減税
- ・新しい形態の観光サービスの提供に係る融資及び補助

第5章 日本人の海外旅行の現状



第5章 日本人の海外旅行の現状

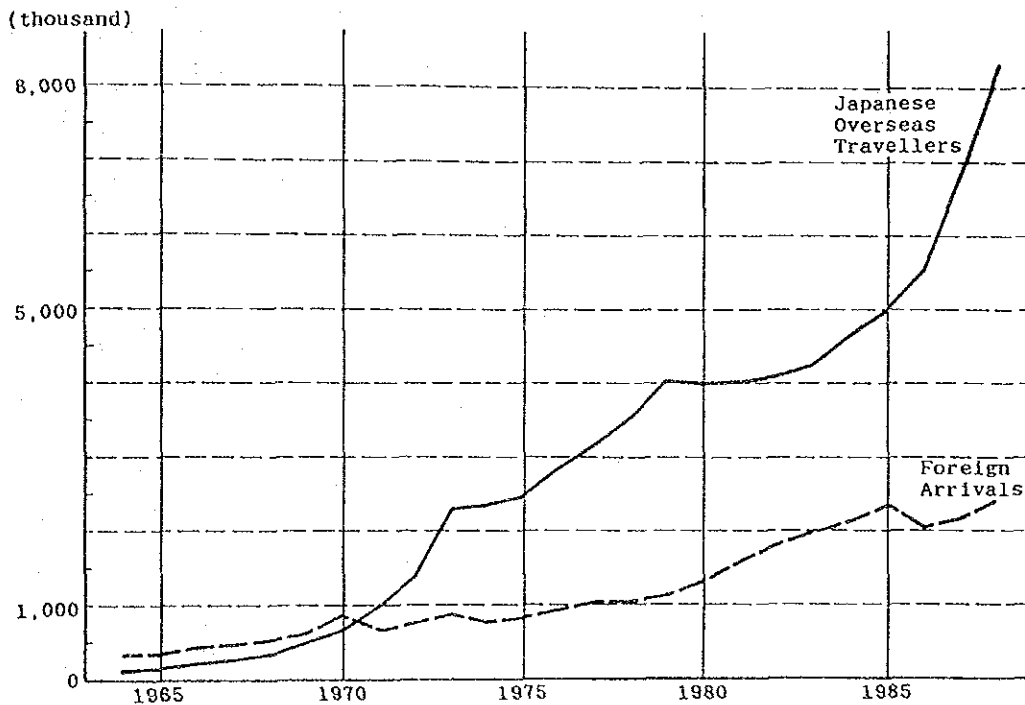
本章では、各種の既存調査結果を基に、日本人の海外旅行の一般的な特性を述べる。

5.1 日本人の海外旅行者数

日本人の海外旅行者数は図5.1.1に示されるように、特に1985年以後急激な増大を続けている。

1985年に500万人を越えて以来、1988年には840万人に達し、運輸省が掲げた「テン・ミリオン計画」は、目標年次より1年早い1990年には達成されるだろうという見方が強い。(図5.1.1)

Figure 5.1.1
Trend of Japanese Overseas Travellers
and Visitors Arrivals to Japan, 1964 - 1988

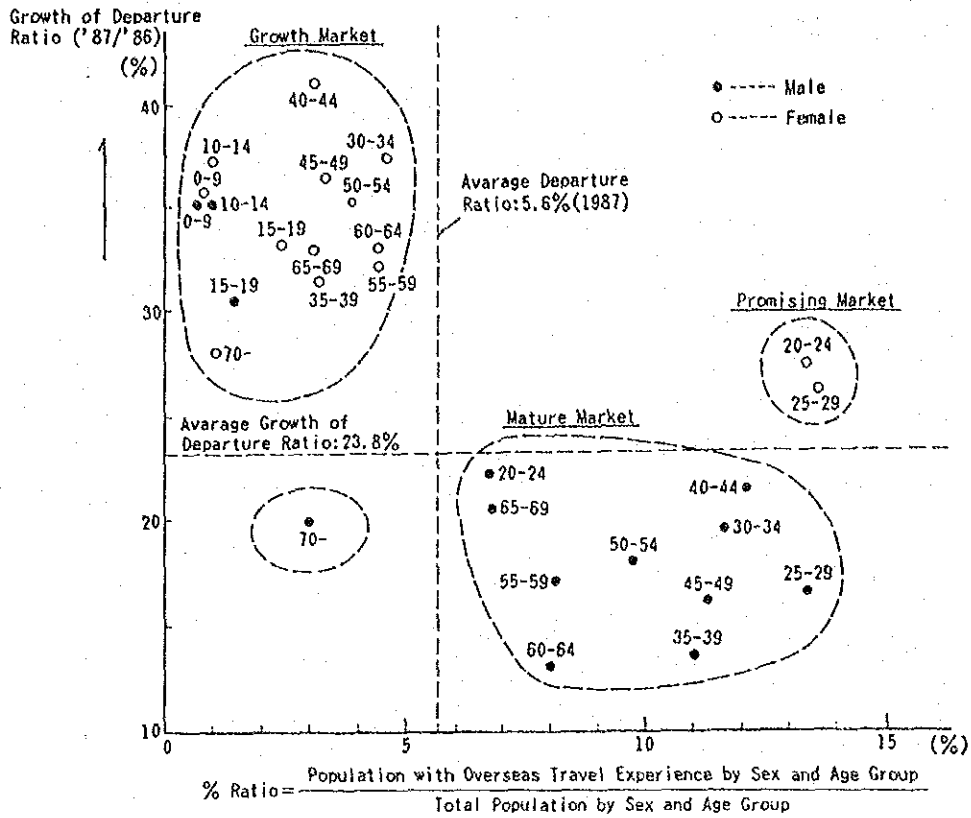


Source: Immigration Bureau, Ministry of Justice, Japan

5.2 年齢別・性別の特徴

図5.2.1は、男女別・年齢層別の出国率(当該人数に対する海外旅行者数の比率)を横軸に、出国率の対前年伸び率(1986年の出国率に対する1987年の出国率の伸び率)を縦軸にとり、海外旅行者市場の実態を見たものである。

Figure 5.2.1
Ratio of Age Group with Sex
and Its Growth (1986 and 1987)



10代以下の男女と、20代以上の女性は「成長市場」に位置付けられる。これらの年齢層は、市場としての規模はまだそれほど大きくないが、急速に拡大しつつある市場である。

「海外観光旅行の担い手」と見られている20代の女性は、この図においては「優良市場」に位置し、市場の規模が大きく、かつ伸び率の高い最良の市場である。

1987年11月に総理府が実施した「海外旅行に関する世論調査」を見ても、男女別・年齢層別で海外旅行の経験率が一番高いのが20代女性で、この事実を裏付けている。(表5.2.1)

かつて海外旅行の中心を占めていた成人男性は、いずれも「成熟市場」に属し、伸び率が相対的に低い。

70代以上の男性は、伸び率だけでなく出国率も低いため、「問題市場」に位置付けられる。

総じて言えば、1987年の海外旅行市場は、20代女性を中心としつつも、中高年女性と子供の伸びが目立つ。つまり、これまで海外旅行の少なかった層を中心に市場が拡大し、海外旅行の底辺拡大が進んだ点に特長がある。

Table 5.2.1
Experience of Overseas Travel

| | No. of Samples | Have been abroad | | | Not been abroad | G. Total |
|--------------|----------------|------------------|----------------------------------|------------------------------------|-----------------|----------|
| | | Total | Have stayed abroad ^{1/} | Have traveled abroad ^{1/} | | |
| | | % | % | % | % | % |
| Total | 2,287 | 22.6 | 2.4 | 20.3 | 77.4 | 100.0 |
| [Sex] | | | | | | |
| Male | 1,050 | 28.9 | 3.8 | 25.2 | 71.1 | 100.0 |
| Female | 1,237 | 17.3 | 1.3 | 16.1 | 82.7 | 100.0 |
| [Age Group] | | | | | | |
| Male 20-29 | 133 | 23.3 | - | 23.3 | 76.7 | 100.0 |
| 30-39 | 238 | 30.7 | 2.1 | 28.6 | 69.3 | 100.0 |
| 40-49 | 243 | 30.5 | 2.9 | 27.6 | 69.5 | 100.0 |
| 50-59 | 256 | 26.2 | 3.1 | 23.4 | 73.8 | 100.0 |
| 60- | 180 | 32.2 | 11.1 | 21.7 | 67.8 | 100.0 |
| Female 20-29 | 192 | 34.9 | 1.0 | 33.9 | 65.1 | 100.0 |
| 30-39 | 301 | 18.3 | 2.0 | 16.6 | 81.7 | 100.0 |
| 40-49 | 290 | 9.7 | 0.3 | 9.3 | 90.3 | 100.0 |
| 50-59 | 273 | 12.8 | 2.2 | 10.6 | 87.2 | 100.0 |
| 60- | 181 | 16.0 | 0.6 | 15.5 | 84.0 | 100.0 |

Source: Public Poll on Overseas Travel (Nov. 1987, prime Minister's office)

^{1/} Multi Answer (that is, one respondent may supply the answer for both "stayed" and "travelled" abroad).

5. 3 海外旅行の目的

表5.3.1は、(株)社会調査研究所による「海外旅行需要実態統計」1987年の年間計の数値である。

観光旅行が約6割と圧倒的に多く、次いでビジネスが23%となっている。性別では、当然のことながら、男性では両目的の差が接近しているのに対し、女性では観光旅行が77%に達し、海外観光旅行における女性の重要性を実証している。

Table 5.3.1
Purpose of Overseas Travel

| Purpose | Total | | Male | | Female | | Not Specified | |
|--------------------------------------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|
| | No. of Samples | % | No. of Samples | % | No. of Samples | % | No. of Samples | % |
| Sightseeing | 5,100 | 58.4 | 2,346 | 46.7 | 2,512 | 77.4 | 242 | 52.8 |
| Honeymoon | 582 | 6.7 | 352 | 7.0 | 210 | 6.5 | 20 | 4.4 |
| Business (incl. Government Official) | 1,987 | 22.8 | 1,770 | 35.2 | 90 | 2.8 | 127 | 27.7 |
| Overseas Assignment | 77 | 0.9 | 59 | 1.2 | 12 | 0.4 | 6 | 1.3 |
| Study Abroad | 85 | 1.0 | 22 | 0.4 | 60 | 1.8 | 3 | 0.7 |
| Study/Inspection Tour | 470 | 5.4 | 301 | 6.1 | 132 | 4.1 | 37 | 8.1 |
| Visiting Friends/Relatives | 306 | 3.5 | 111 | 2.2 | 179 | 5.5 | 16 | 3.5 |
| Others | 81 | 0.9 | 43 | 0.9 | 33 | 1.0 | 5 | 1.1 |
| N. A. | 41 | 0.5 | 20 | 0.4 | 19 | 0.6 | 2 | 0.4 |
| TOTAL | 8,729 | 100.0 | 5,024 | 100.0 | 3,247 | 100.0 | 458 | 100.0 |

Source: "Overseas Travel Survey", 1987 (Japan Travel Bureau Foundation)

5. 4 海外旅行日程

旅行日数は目的によって異なる。観光旅行に比べて業務出張は長いものが多いし、海外駐在や留学は年が単位となる。また、目的地によっても影響を受けるのは当然で、近距離の目的地への旅行は短く、遠距離は長い。

表5.4.1は、Destinationごとに、現地での滞在日数を見たものである。

Table 5.4.1
Travel Itineraries (Duration of Stay) by Destination

| Duration | Total | Korea Hong Kong Taiwan | China | South- east Asia | West Coast of United States | Other Part of North America | Hawaii | Guam Saipan | South Pacific Islands | Oceania | Europe |
|---------------------------|------------------|------------------------------|----------------|------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------|----------------|-----------------------------|----------------|------------------|
| 1-4 days | 988 (11.3) | 776 (34.7) | 43 (7.2) | 84 (6.7) | 1 (0.1) | 3 (0.3) | 8 (0.6) | 128 (21.9) | - | 1 (0.3) | 5 (0.3) |
| 5 days | 916 (10.5) | 326 (14.6) | 70 (11.9) | 277 (22.2) | 10 (1.2) | 12 (1.3) | 19 (1.3) | 269 (46.1) | 9 (11.7) | 4 (1.4) | 7 (0.4) |
| 6 days | 1,179 (13.5) | 228 (10.2) | 81 (13.8) | 177 (14.2) | 19 (2.3) | 32 (3.4) | 596 (41.6) | 93 (15.9) | 11 (14.3) | 13 (4.4) | 19 (1.1) |
| 7 days | 673 (7.3) | 136 (6.1) | 64 (10.9) | 67 (5.4) | 89 (10.9) | 64 (6.7) | 273 (19.1) | 12 (2.1) | 4 (5.2) | 23 (7.8) | 30 (1.7) |
| 8 days | 836 (9.6) | 77 (3.4) | 65 (11.1) | 95 (7.6) | 96 (11.8) | 109 (11.5) | 139 (9.7) | 10 (1.7) | 21 (27.3) | 103 (35.2) | 203 (11.8) |
| 9-10 days | 746 (8.5) | 84 (3.8) | 54 (9.2) | 73 (5.8) | 117 (14.4) | 150 (15.8) | 84 (5.9) | 9 (1.5) | 10 (13.0) | 54 (18.4) | 259 (15.0) |
| 11-14 days | 931 (10.7) | 83 (3.7) | 55 (9.4) | 88 (7.1) | 138 (16.9) | 169 (17.8) | 48 (3.4) | 7 (1.2) | 6 (7.8) | 19 (6.5) | 487 (28.2) |
| 15-20 days | 555 (6.4) | 63 (2.8) | 19 (3.2) | 80 (6.4) | 94 (11.5) | 126 (13.3) | 35 (2.4) | 2 (0.3) | 2 (2.6) | 14 (4.8) | 226 (13.1) |
| More than 21 days | 735 (8.4) | 112 (5.0) | 42 (7.1) | 122 (9.8) | 139 (17.1) | 166 (17.5) | 48 (3.4) | 3 (0.5) | 6 (7.8) | 32 (10.9) | 276 (16.0) |
| N. A. | 1,170 (13.4) | 354 (15.8) | 95 (16.2) | 185 (14.8) | 112 (13.7) | 118 (12.4) | 182 (12.7) | 51 (8.7) | 8 (10.4) | 30 (10.2) | 213 (12.3) |
| Total | 8,729 (100.0) | 2,239 (100.0) | 588 (100.0) | 1,248 (100.0) | 815 (100.0) | 949 (100.0) | 1,432 (100.0) | 584 (100.0) | 77 (100.0) | 293 (100.0) | 1,725 (100.0) |
| Average Length of Stay | 10.1 | 6.8 | 9.5 | 10.1 | 14.4 | 14.8 | 8.1 | 5.0 | 10.0 | 11.6 | 15.1 |

Source: "Overseas Travel Survey" (1987, Japan Travel Bureau Foundation)

サンプル数は少くとも、滞在日数の長い出張、海外駐在や留学が平均滞在日数の算出に影響を及ぼしているため、我々が海外観光旅行日数について抱いているイメージよりも、長い結果となっている。特に、そうした旅行のウェイトが高い「その他北米」と「欧州・ソ連」は影響が大きいと思われる。一方、そうした旅行のウェイトが低い「ハワイ」、「グアム・サイパン」などは、観光旅行の滞在日数を比較的忠実に表わしていると言えよう。

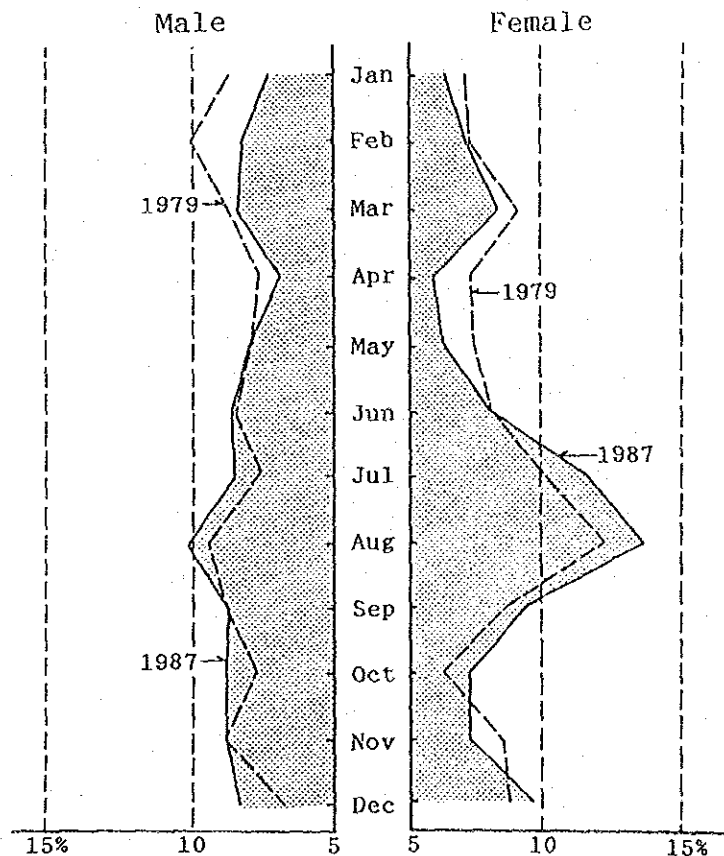
従って、旅行先ごとに海外観光旅行日数についてのコンセプトを得るには、本表における平均滞在日数によらず、いちばんサンプル数の多い区分（つまり、並み数）を見たほうがよい。

日本人の海外旅行日数は、その他の国と比べて短いとされている。1986年の訪米外客統計によれば、主要国の訪米旅行者の平均滞在日数は、英国が12.0泊、西独が14.8泊、フランスが11.4泊、オーストラリアが13.6泊、香港が12.2泊であるのに対し、日本はおよそこれらの国の半分の6.1泊となっている（国際観光振興会「調査トピックス」第842号）。

5. 5 海外旅行の季節波動

観光旅行は、国内旅行たると海外旅行たるとを問わず、基本的に「カネ」と「ヒマ」の所産である。従って、海外観光旅行に、休暇の“取の易さ”が及ぼす影響は大きい。国内旅行と比べて、より長期の休暇を必要とする海外旅行においては、休暇の“取り易さ”はより重要である。

Figure 5.5.1
Seasonal Fluctuation of Overseas Travelers,
1979 and 1987



Source: Immigration Bureau, Ministry of Justice, Japan

図 5.5.1 は、性別の海外旅行者の季節変動を、1979年と1987年の対比でみたものである。季節にあまり関係のない出張旅行の多い男性が季節変動が小さく、観光旅行のウェイトが高い女性が季節変動が大きいのは、当然と言えば当然であろう。

ここで注目したいのは、男女とも、夏期への集中が高まっている点である。とくに女性の集中が目立つが、その理由としては、長期休暇の取り易い夏期にOLの海外旅行が増加したこと、夏休みの家族旅行が増加したこと、などが考えられる。しかし、夏期集中といっても、欧州と比べるとまだ平準化しているほうである。その背景としては、春と秋の新婚旅行、2～3月の学生の海外旅行が挙げられよう。

Note: . Spring and autumn are wedding seasons for Japanese. More than 70% of honeymoon couples choose overseas travel as their honeymoon trip.

. In general, it is said that a certain amount of Japanese students go abroad twice during their university lives of four years. First, 3rd grade students try overseas travel to learn English in summer vacation, and second, to visit the other countries as sightseers in spring vacation of 4th grade students, just before they start employment.

5.6 パッケージ・ツアー利用動向

日本人の海外旅行者のうち、観光旅行と新婚旅行におけるパッケージ・ツアー利用率は、85%と高い数値を示している。(表 5.6.1)。

男女別では女性のほうが高く、女性の中では20代のヤング女性と50代以上の高齢者女性の利用率が高い。

国際比較については、適当なデータがないが、1987年のマレーシア調査(JICA "The Study on a Comprehensive National Tourism Development Plan in Malaysia")において、全旅行における日本人海外旅行者のパッケージ・ツアー利用率65%、その他外国人17.6%という数値があり、日本人の利用率が高いことは間違いないようだ。その理由としては、価格面のメリットだけでなく、日本人の語学能力の低さもあるようだ。

この意味において、日本人の海外観光旅行における旅行業者の役割は大きいといえよう。

Table 5.6.1
Package Tours Usage of Japanese Overseas Sightseers
& Honeymooners

| Sex | Age Group | Total | | Used | | Did Not Use | | N | A |
|-------|-----------|-----------------------|-------------|-----------------------|---------|-----------------------|---------|----|-----|
| | | Number of Samples (A) | Pro-portion | Number of Samples (B) | (B)/(A) | Number of Samples (C) | (C)/(A) | | |
| | | | % | | % | | % | | % |
| Total | -19 | 10 | 100.0 | 8 | 80.0 | 2 | 20.0 | - | - |
| | 20-29 | 1,005 | 100.0 | 896 | 89.2 | 108 | 10.7 | 1 | 0.1 |
| | 30-39 | 414 | 100.0 | 335 | 80.9 | 79 | 19.1 | - | - |
| | 40-49 | 197 | 100.0 | 141 | 71.6 | 54 | 27.4 | 2 | 1.0 |
| | 50-59 | 319 | 100.0 | 250 | 78.4 | 64 | 20.1 | 5 | 1.6 |
| | 60- | 436 | 100.0 | 386 | 88.5 | 48 | 11.0 | 2 | 0.5 |
| | N. A. | 166 | 100.0 | 141 | 84.9 | 24 | 14.5 | 1 | 0.6 |
| | | 2,547 | 100.0 | 2,157 | 84.7 | 379 | 14.9 | 11 | 0.4 |
| Men | -19 | 3 | 100.0 | 3 | 100.0 | - | - | - | - |
| | 20-29 | 273 | 100.0 | 233 | 85.3 | 40 | 14.7 | - | - |
| | 30-39 | 234 | 100.0 | 181 | 77.4 | 53 | 22.6 | - | - |
| | 40-49 | 113 | 100.0 | 75 | 66.4 | 36 | 31.9 | 2 | 1.8 |
| | 50-59 | 163 | 100.0 | 113 | 69.3 | 48 | 29.4 | 2 | 1.2 |
| | 60- | 321 | 100.0 | 280 | 87.2 | 40 | 12.5 | 1 | 0.3 |
| | N. A. | 86 | 100.0 | 69 | 80.2 | 16 | 18.6 | 1 | 1.2 |
| | | 1,193 | 100.0 | 954 | 80.0 | 233 | 19.5 | 6 | 0.5 |
| Women | -19 | 7 | 100.0 | 5 | 71.4 | 2 | 28.6 | - | - |
| | 20-29 | 732 | 100.0 | 663 | 90.6 | 68 | 9.3 | 1 | 0.1 |
| | 30-39 | 180 | 100.0 | 154 | 85.6 | 26 | 14.4 | - | - |
| | 40-49 | 84 | 100.0 | 66 | 78.6 | 18 | 21.4 | - | - |
| | 50-59 | 156 | 100.0 | 137 | 87.8 | 16 | 10.3 | 3 | 1.9 |
| | 60- | 115 | 100.0 | 106 | 92.2 | 8 | 7.0 | 1 | 0.9 |
| | N. A. | 72 | 100.0 | 66 | 91.7 | 6 | 8.3 | - | - |
| | | 1,346 | 100.0 | 1,197 | 88.9 | 144 | 10.7 | 5 | 0.4 |

Source: "Overseas Travel Survey" (1987, Japan Travel Bureau Foundation)

5.7 日本人の海外旅行先

表5.7.1は、1978年から1982年までの、日本人海外旅行者の行先別の推移を見たものである。

順位に変動はあるものの、ハワイ、韓国、香港および台湾が、終始変わらず4大デステイネーションとなっている。

Table 5.7.1
Japanese Overseas Travelers by Destination
(Arrivals from Japan)

| Destination | | 1983 | %Chng | 1984 | %Chng | 1985 | %Chng | 1986 | %Chng | 1987 | %Chng |
|----------------|---------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| ASIA | | | | | | | | | | | |
| China | NF | 265,033 | 8.1 | 386,169 | 45.7 | 470,492 | 21.8 | 483,507 | 2.8 | 577,702 | 19.5 |
| Hong Kong | RF | 502,175 | -2.6 | 584,013 | 16.3 | 635,767 | 8.9 | 727,219 | 14.4 | 1,033,525 | 42.1 |
| India | NF-RF | 26,764 | -8.2 | 29,538 | 10.4 | 30,585 | 3.5 | 36,346 | 18.8 | 46,355 | 27.5 |
| Indonesia | NF | 84,770 | 16.3 | 92,393 | 9.0 | 102,352 | 10.8 | 120,254 | 17.5 | 160,168 | 33.2 |
| Iran | NF | 6,551 | 91.1 | 8,096 | 23.6 | 3,660 | -54.8 | 3,353 | -8.4 | 2,654 | -20.8 |
| Korea | NF | 528,265 | 2.0 | 576,448 | 9.1 | 638,941 | 10.8 | 791,011 | 23.8 | 893,596 | 13.0 |
| Macau | NF | 161,214 | -4.6 | 168,740 | 4.7 | 158,174 | -6.8 | 168,358 | 6.4 | 250,868 | 49.0 |
| Malaysia | RF | 101,830 | 12.2 | 111,637 | 9.6 | 117,250 | 5.0 | 125,458 | 7.0 | 134,200 | 7.0 |
| Maldives | NF | 1,844 | 33.6 | 7,268 | 294.1 | 14,117 | 94.2 | 9,422 | -33.3 | 10,747 | 14.1 |
| Nepal | RF | 10,570 | 12.4 | 7,360 | -30.4 | 10,257 | 39.4 | 12,072 | 17.7 | 16,132 | 33.6 |
| Pakistan | NF | 8,523 | 29.1 | 7,807 | -8.4 | 8,442 | 8.1 | 9,171 | 8.6 | 9,200 | 0.3 |
| Philippines | RF | 178,783 | 11.8 | 161,083 | -9.9 | 153,511 | -4.7 | 134,261 | -12.5 | 126,825 | -5.6 |
| Singapore | RF | 370,639 | -2.1 | 369,534 | -0.3 | 377,686 | 2.2 | 404,278 | 7.0 | 541,399 | 33.9 |
| Sri Lanka | NF-RF | 11,788 | -2.2 | 20,573 | 74.5 | 23,356 | 13.5 | 12,696 | -45.6 | 7,414 | -41.6 |
| Taiwan | NF | 595,042 | 3.4 | 632,481 | 6.3 | 615,584 | -2.7 | 696,686 | 13.2 | 807,736 | 15.9 |
| Thailand | NF | 223,614 | -2.0 | 221,945 | -0.7 | 221,485 | -0.2 | 259,381 | 17.1 | 341,899 | 31.8 |
| Turkey | NF | 7,782 | 24.0 | 13,060 | 67.8 | 16,811 | 28.7 | 16,740 | -0.4 | 21,067 | 25.9 |
| EUROPE | | | | | | | | | | | |
| Austria | RHA | 90,755 | 8.0 | 106,355 | 17.2 | 125,598 | 18.1 | 118,585 | -5.6 | 162,976 | 37.4 |
| Belgium | RHN | 72,950 | -9.9 | 88,665 | 21.5 | 98,203 | 10.8 | 95,327 | -2.9 | 106,393 | 11.6 |
| Denmark | NHN | 82,100 | 10.5 | 79,500 | -3.2 | 78,000 | -1.9 | 70,100 | -10.1 | 82,900 | 18.3 |
| Finland | RHN | 36,807 | 52.9 | 41,872 | 13.8 | 44,180 | 5.5 | 38,550 | -12.7 | 51,318 | 33.1 |
| France | NFA-RHA | 457,159 | -2.6 | 447,843 | -2.0 | 470,298 | 5.0 | 543,696 | 15.6 | 611,796 | 12.5 |
| Germany(F.R.) | RAA | 354,876 | 1.9 | 410,296 | 15.6 | 488,582 | 19.1 | 494,333 | 1.2 | 588,615 | 19.1 |
| Greece | NF | 82,029 | 9.7 | 86,476 | 5.4 | 92,802 | 7.3 | 89,075 | -8.3 | 92,000 | 8.1 |
| Italy | RF | 327,133 | 7.8 | 340,209 | 4.0 | 335,190 | -1.5 | 401,278 | 19.7 | 384,837 | -4.1 |
| Netherlands | RAA | 66,900 | -15.4 | 72,900 | 9.0 | 80,345 | 10.2 | 71,383 | -11.2 | N.A. | |
| Norway | NHN | 52,997 | 27.3 | 62,958 | 18.8 | 64,365 | 2.2 | 46,046 | -28.5 | 75,131 | 63.2 |
| Portugal | NF | 14,354 | 3.8 | 19,514 | 35.9 | 19,986 | 2.4 | 23,246 | 16.3 | 28,596 | 23.0 |
| Spain | NF | 94,963 | 18.4 | 108,563 | 14.3 | 126,639 | 16.7 | 121,072 | -4.4 | 130,487 | 7.8 |
| Sweden | NAN | 54,330 | -2.4 | 60,148 | 10.7 | 59,928 | -0.4 | 54,689 | -8.7 | 64,286 | 17.5 |
| Switzerland | RHA | 267,501 | 9.4 | 280,931 | 5.0 | 294,688 | 4.9 | 313,295 | 6.3 | 369,008 | 17.8 |
| U.K. | RF | 170,300 | 6.8 | 200,600 | 17.8 | 210,700 | 5.0 | 205,400 | -2.5 | 297,200 | 44.7 |
| Yugoslavia | RAA | 8,747 | -6.7 | 9,346 | 6.8 | 10,042 | 7.4 | 11,624 | 15.8 | 13,721 | 18.0 |
| AFRICA | | | | | | | | | | | |
| Egypt | NF | 25,942 | 17.4 | 33,063 | 27.4 | 31,384 | -5.1 | 25,887 | -17.5 | 35,655 | 37.7 |
| Morocco | NF | N.A. | | 6,503 | * | 6,936 | 6.7 | 7,435 | 7.2 | 9,800 | 31.8 |
| AMERICA | | | | | | | | | | | |
| Brazil | NF-RF | 25,347 | 36.6 | 19,877 | -21.6 | 22,508 | 13.2 | 27,652 | 22.9 | N.A. | |
| Canada | RF | 138,716 | -0.5 | 162,240 | 17.0 | 174,503 | 7.6 | 235,158 | 34.8 | 311,700 | 32.6 |
| Mexico | | 56,000 | 4.7 | N.A. | | N.A. | | N.A. | | N.A. | |
| Peru | NF | 7,752 | -9.3 | 7,908 | 2.0 | 8,086 | 2.3 | 8,852 | 9.5 | N.A. | |
| U.S.A. | RF | 1,282,875 | 5.2 | 1,414,909 | 10.3 | 1,496,202 | 5.7 | 1,681,071 | 12.4 | 2,128,481 | 26.6 |
| Guam | RF | 294,492 | 11.4 | 301,499 | 2.4 | 301,690 | 0.1 | 332,317 | 10.2 | 412,637 | 24.2 |
| Hawaii | Ne | 729,000 | 1.5 | 816,000 | 11.9 | 855,000 | 4.8 | 944,000 | 10.4 | 1,161,000 | 23.0 |
| OCEANIA | | | | | | | | | | | |
| Australia | RF | 71,800 | 18.9 | 87,884 | 22.4 | 107,590 | 22.4 | 145,608 | 35.3 | 215,562 | 48.0 |
| Fiji | RF | 14,401 | -20.1 | 14,864 | 3.2 | 12,601 | -15.2 | 11,801 | -6.3 | 5,487 | -53.5 |
| Marianas | RF | 104,581 | 18.3 | 104,096 | -0.5 | 107,770 | 3.5 | 127,338 | 18.2 | 152,095 | 19.4 |
| New Caledonia | RF | 21,699 | 14.4 | 21,981 | 1.3 | 17,512 | -20.3 | 15,942 | -9.0 | 16,260 | 2.0 |
| New Zealand | RF | 32,481 | 18.8 | 41,888 | 29.0 | 50,264 | 20.0 | 62,656 | 24.7 | 76,150 | 21.5 |
| Tahiti | RF | 1,558 | -22.0 | 1,060 | -32.0 | 2,410 | 127.4 | 4,661 | 93.4 | 3,898 | -16.4 |

Remarks: R: Reported by residence
N: Reported by nationality
F: Frontier arrival
HA: Arrival in hotels
AA: Arrival in registered tourist accommodations
HN: Nights spent in hotels
AN: Nights spent in registered tourist accommodations
N.A.: Not available

*: % change over the previous year not available
e: Estimated figures
p: Provisional figures

Source: Tourism Statistics, 1987 (JNTO)

5. 8 海外旅行の経費

日本人が海外旅行にどのくらいの経費を使っているかみてみよう。海外旅行の経費は、当然のことながら、旅行日数や旅行目的によって異なるが、ここでは旅行目的による区分での内容をみている。海外駐在や留学は期間も長いから、当然記憶も薄らいでいるし、このサンプルの数値は疑問が残らない訳ではない。しかし、他の目的については、旅行日数もそれほど長くないから、ほぼ鮮明に記憶残されていて、正しいと見ていいだろう。この表によると、「研修・視察旅行」が65万円、「出張（商用・公用）」が61万円、「新婚旅行」が59万円、「観光旅行」と「友人・家族訪問」が45万円、となっている。

5. 9 同行者

日本人の海外旅行の同行者は、「会社の同僚」と「友人・知人」、つまり、広い意味での友人・知人が4割に達し、一番多い（表5.9.1）。「会社の同僚」は、出張や研修・視察旅行だけでなく、観光旅行でも——とくにOLの場合——多いようだ。

「夫婦旅行」は、新婚旅行と、高令者に多い。「家族旅行」が国内旅行に比べて少いのは、長期休暇の取り難さと、経費の高さによるものであろう。

Table 5.9.1
Travelling Companions

| | Number of Samples | Proportion |
|----------------------------|-------------------|------------|
| Alone | 1,965 | 22.5% |
| with Spouse | 1,726 | 19.8% |
| with Family | 800 | 9.2% |
| with Relatives | 141 | 1.6% |
| with Friends | 1,977 | 22.6% |
| with Colleagues | 1,598 | 18.3% |
| with Family/ Friends | 112 | 1.3% |
| with Family/ Colleagues | 21 | 0.2% |
| Others | 316 | 3.6% |
| N.A. | 73 | 0.8% |
| Total | 8,729 | 100.0% |

Source: Overseas Travel Survey (1987, Japan Travel Bureau Foundation)

5. 10 希望海外旅行先

実際に「行った国」と、「行きたい国」との間には乖離が生じている。前項では、「行った国」について見たが、ここでは「行きたい国」について見てみよう。

表5.10.1は、海外旅行経験者たると、未経験者たるとに問わず、「実際に行けるかどうかは別として、行ってみたい場所」を挙げてもらったものである。(首都圏、京阪神圏在住者)。

「スイス・アルプス」が44%でトップ、次いで「オーストラリア・ニュージーランド」「ハワイ」と続き、「ギリシャ・エーゲ海」は第5位につけている。

子細に見ると、希望旅行先は性別・年齢層別によって相違があり、例えば、「スイス・アルプス」は半数以上の女性に支持されながら男性の間では第4位である。「ニューヨーク・ワシントン」は、全体では8位であるが、10代の男性の支持率は第3位となる。「ギリシャ・エーゲ海」はと言えば、20代女性が、最大の支持層であることがわかる。

Table 5.10.1
Destinations Japanese Would Like to Visit

| | Switzer-land/ Alps | Aust-ralia/ New Zealand | Hawaii | Canada/ Alaska | Paris | Greece/ The Ae-gean Sea | Rome | Vienna | New York/ Washing- ton | San Fran- sisco/ Los Angeles |
|-------|-----------------------|----------------------------|---------------|-------------------|---------------|----------------------------|---------------|---------------|------------------------------|------------------------------------|
| Total | 666 (43.7) | 608 (39.9) | 603 (39.6) | 583 (38.3) | 529 (34.9) | 499 (32.7) | 436 (28.6) | 407 (26.7) | 381 (25.0) | 354 (23.2) |
| Men | | | | | | | | | | |
| 10's | 35 (30.2) | 54 (46.6) | 51 (44.0) | 37 (31.9) | 45 (38.8) | 31 (26.7) | 39 (33.6) | 27 (23.3) | 43 (37.1) | 42 (36.2) |
| 20's | 68 (35.2) | 95 (49.2) | 67 (34.7) | 75 (38.9) | 61 (31.6) | 61 (31.6) | 60 (31.1) | 49 (25.4) | 64 (33.2) | 55 (28.5) |
| 30's | 52 (34.9) | 63 (42.3) | 60 (40.3) | 76 (51.0) | 38 (25.5) | 53 (35.6) | 34 (22.8) | 33 (22.1) | 29 (19.5) | 33 (22.1) |
| 40's | 50 (37.0) | 44 (32.6) | 43 (31.9) | 53 (39.3) | 34 (25.2) | 39 (28.9) | 39 (22.2) | 32 (23.7) | 27 (20.0) | 22 (16.3) |
| 50's | 42 (42.9) | 28 (28.6) | 37 (37.8) | 33 (33.7) | 29 (29.6) | 28 (28.6) | 30 (30.6) | 27 (22.4) | 16 (16.3) | 16 (16.3) |
| Total | 247 (35.7) | 284 (41.1) | 258 (37.5) | 274 (39.7) | 207 (30.0) | 212 (30.7) | 193 (27.9) | 163 (23.6) | 179 (25.9) | 168 (24.3) |
| Women | | | | | | | | | | |
| 10's | 50 (50.5) | 44 (44.4) | 50 (50.5) | 34 (34.3) | 55 (55.6) | 33 (33.3) | 36 (36.4) | 34 (34.3) | 40 (40.4) | 34 (34.3) |
| 20's | 105 (50.7) | 100 (48.3) | 96 (46.4) | 87 (42.0) | 112 (54.1) | 93 (44.9) | 79 (38.2) | 78 (37.7) | 81 (39.1) | 67 (32.4) |
| 30's | 121 (55.0) | 63 (40.5) | 60 (40.5) | 76 (36.8) | 38 (30.9) | 53 (38.2) | 34 (25.9) | 33 (23.6) | 29 (12.7) | 33 (18.2) |
| 40's | 84 (50.0) | 48 (28.6) | 66 (39.3) | 56 (33.3) | 49 (27.2) | 53 (31.5) | 40 (23.8) | 51 (30.4) | 31 (18.5) | 27 (16.1) |
| 50's | 50 (42.4) | 42 (30.2) | 43 (30.5) | 51 (36.7) | 38 (27.3) | 24 (17.3) | 31 (22.3) | 29 (20.9) | 22 (15.8) | 18 (12.9) |
| Total | 419 (50.3) | 324 (38.9) | 345 (41.4) | 309 (37.1) | 322 (38.7) | 287 (34.5) | 243 (29.2) | 244 (29.3) | 202 (24.2) | 186 (22.3) |

Source: '88 Survey on Japanese Likes/Dislikes (1987, Japan Travel Bureau Foundation)

5.11 日本のパッケージ・ツアーの特長

前述したように、海外観光旅行における日本人旅行者のパッケージ・ツアー利用率は高い。しかし、欧州と比較した場合、同じパッケージ・ツアーでも、かなりの相違点を見出せる。

第一に、日本の場合、パッケージ・ツアーを造成、運行するツアー・オペレーターが自ら店舗網を持ち、自ら販売するケースがきわめて多いということである。もちろん、こうしたツアー・オペレーターは、ホールセラーとして、自らのパッケージ・ツアーを、コミッションを払って、リテーラーである自社の代理店に卸す。しかし、多くの有力なオペレーターは、自らの商品を、自らの店舗で販売するほうが多い。そればかりではなく、リテーラーとして他のホールセラーの商品を仕入れ、販売する。

日本にも、ホールセール専門のツアー・オペレーターがない訳ではない。Jalpak を取扱う Japan Creative Tours , Jet Tour を取扱う Jetour が代表例である。

日本最大のトラベル・エージェント、JTBは、Japan Creative Tours 最大のリテーラーであるが、ツアー・オペレーターとしての自社の商品 'Look' を造成し、自ら販売するだけでなく、ホールセラーとして自社の代理店や他の大手のトラベル・エージェントに卸売りしている。

第二に、日本のパッケージ・ツアーには、周遊型が多いということである。とくに、欧州を訪れるツアーは、ほとんどが周遊型である。

しかし、このことは、日本人がリゾートに滞在するタイプの旅行を好まない、ということの意味するものではない。ハワイやグアム、サイパン、東南アジアのビーチ・リゾートを訪問する旅行は、ヤング層を中心にファンが多い。

第三に、日本のパッケージ・ツアーには、チャーター便利用がきわめて少い。日本では、Inclusive Tour Charter 利用について、いろいろな制約があり、パッケージ・ツアーのほとんどが、定期便利用である。

表5.11.1に、主要パッケージ・ツアーの一覧を掲げておく。

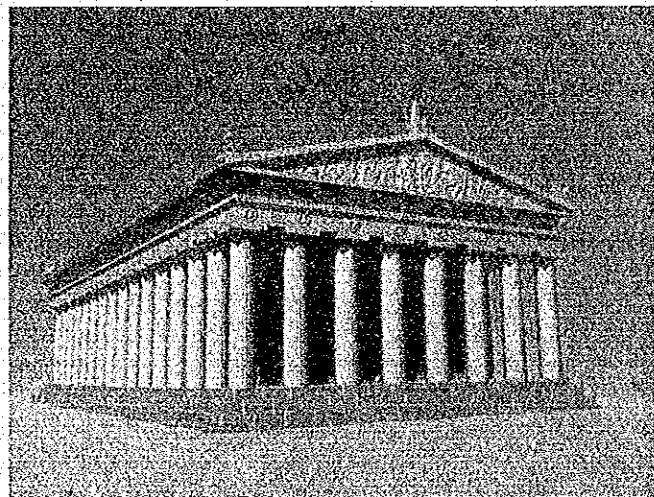
Table 5.11.1
Major Package Tours by Japanese Travel Agents

| Brand | Tour Operator | Number of Users('87) | Brand | Tour Operator | Number of Users('87) |
|-----------------|--|----------------------|--------------------|---|----------------------|
| Asahi Sun Tours | Asahi Sun Tours Inc. | *20,000 | Leisure Tours | Fuji Tours International, Ltd. | *80,400 |
| Century | Asia Creative Tours Co., Ltd. | 15,000 | Let's Go Tours | Nissin Travel Service Co., Ltd. | *58,000 |
| Club Med | Club Mediterranee K.K. | 25,000 | Look | Japan Travel Bureau Inc. & Nippon Express Co., Ltd. | 335,097 |
| Compass | Nissin Travel Service Co., Ltd. | *67,000 | Mach | Nippon Travel Agency Co., Ltd. | 84,140 |
| Diamond Tour | Yusen Air & Sea Service Co., Ltd. | 34,820 | Maple Vacance | Naigai Travel Service Co., Ltd. | *38,000 |
| Dynasty Holiday | Japan Cosmos & Dynasty Holidays, Inc. | *29,900 | Nice Pack | | |
| Dream Holiday | Overseas Tourist Co., Ltd. | 11,000 | Playguide Tour | Playguide Tours Inc. | 10,000 |
| Echo Tour | Travel Nippon Inc. | 19,929 | Ramble Tour | United Tours Co., Ltd. | 8,200 |
| Good Luck Tours | Good Luck Incorporated | *120,000 | Mild Royal Pacific | | |
| Greening Tour | Hankyu Express International Co., Ltd. | *133,200 | Sawayaka Tour | I Transport Inc. | *40,000 |
| Hello Tour | All Nippon Airways World Tours Co., Ltd. | *88,000 | Smile Tour | Seiko Travel Service Co., Ltd. | *63,500 |
| Holiday Tour | Kinki Nippon Tourist Co., Ltd. | 98,500 | Sun World | Kyushu Sanko Turist | 2,700 |
| Jalpack | Japan Creative Tours Co., Ltd. | 121,400 | Top Tour | Tokyu Tourist Corporation | 67,203 |
| Jetset | Jet Set Inc. | 13,000 | Unic | Tobu Travel Co., Ltd. | 19,200 |
| Jet Tour | Jetour Inc. | 151,541 | Wing Tour | Tokyo Tours Inc. | *18,000 |
| | | | You I Tour | You I Tour Inc. | 33,900 |

Remarks: * Includes non-package (e.g., air ticket)

Source : '88 Annual Report of Japanese Tour Wholesalers (1988, Travel Times)

第6章 市場調査および分析



第6章 市場調査および分析

6.1 調査の方法

調査団は、1988年の9月と10月に6種類の市場特性調査と1989年3月にグループ・インタビュー調査を実施した。使用された調査票は Appendix に添付したとおり。

6.1.1 全国オムニバス調査

1) サンプル数：

全国各地の200ヶ所において、ランダムに抽出された18才以上の者2,000名。

2) 手法：

(a) 地域：全国主要都市

(b) 抽出方法：多層化二段階ランダム抽出

(c) 調査方法：直接個人面接

3) 実査月日：1988年9月19日（水）

4) 有効回答数：1,372名

6.1.2 ギリシャ旅行経験者調査

1) 調査票配布数：

JTBのパッケージ・ツアー「Look」の顧客1,250名。

2) 手法：

1987年4月から1988年5月の間に、ギリシャを含むヨーロッパ、アフリカ、中東方面への16のツアーコースに参加した人に対する郵送アンケート

3) 実査月日：1988年10月4日（火）発送

4) 有効回収数：657名

5) サンプルの拡大・修正：

「Look」の利用客には、多くの新婚旅行者が含まれているため、そのままでは、一般的なヨーロッパへの観光旅行者の性向を表わすとはいえない。従って、1987年にJTBから実施した。海外旅行者調査の属性別構成比に適合するよう、階層別に拡大・修正を行った。

6.1.3 非ギリシャ・ヨーロッパ旅行経験者調査

1) 調査票、配布数：

JTBのパッケージ・ツアー「Look」の顧客1,500名。

2) 手法：

1987年4月から1988年5月の間に、ギリシャを含まないヨーロッパ方面への人気のある10コースに参加した人に対する郵送、アンケート

3) 実査月日：1988年10月4日（火）発送

4) 有効回収数：796名

- 5) サンプルの拡大・修正：
ギリシャ旅行経験者調査の場合と同様の修正を行なって、一般的な特性が示されるようにした。

6.1.4 サロニカ湾1日クルーズ船上での調査

- 1) 調査票、配布数：
1日クルーズ船上での日本人観光客300人
- 2) 手法：
GNTOのスタッフの協力を得て、直接面接インタビュー
- 3) 実査月日：1988年9月24日（土）から10月14日（金）の間、随時
- 4) 有効回答数：173名

6.1.5 アテネにおける旅行代理店を通じての日本人旅行者への調査

- 1) 調査票配布数：
アテネに滞在中の日本人グループ・ツアー客200名
- 2) 手法：
ギリシャの旅行代理店を通じてのアンケート用紙配布、回収
- 3) 実査月日：1988年10月4日（火）から10月21日（金）の間、随時
- 4) 有効回収数：111名

6.1.6 グループ・インタビュー調査

- 1) ギリシャ旅行経験者
- a) 人数：5名
面接月日：1989年3月6日（月）
- 2) 非ギリシャ・ヨーロッパ旅行経験者
- a) 人数：6名
面接月日：1989年3月9日（木）
- 3) ツアー添乗員
- a) 人数：5名
面接月日：1989年3月10日（金）

6.1.7 日本およびギリシャにおける旅行代理店へのインタビュー調査

- 1) 日本：
アンフィトリオン・トラベル& SHIPPING、JTB・ワールド、近畿日本ツーリスト、クオニ・トラベル、ミキ・ツーリスト、欧州エクスプレス、リクルート・インターナショナル、ユニバーシティ・コープ・ツアー。
- 2) ギリシャ：
アンフィトリオン・トラベル& SHIPPING、クオニ・トラベル、日本ヘレニック・ツアー
- 3) 実査時間：1988年9月から10月

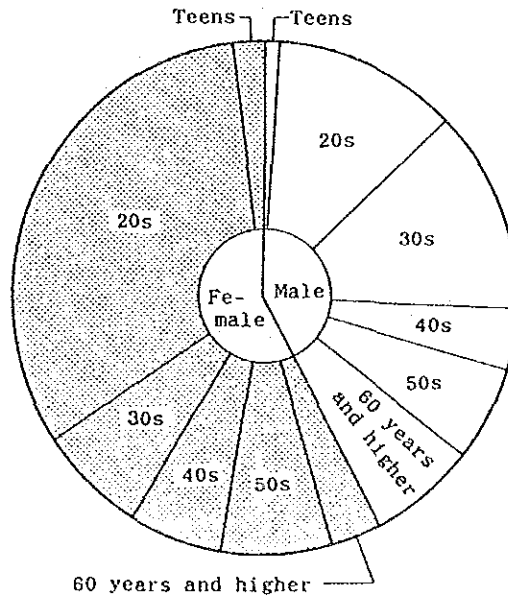
6.2 調査結果の分析

6.2.1 デモグラフィック特性

1) 性別と季節特性

- ・20代後半女性を中心に20代女性は、日本人ギリシャ観光旅行者の3分の1を占める(図6.2.1)。この割合は、日本人観光旅行者全体、欧州観光旅行者平均を凌ぐ(表6.2.1)。

Figure 6.2.1
Distribution of Japanese Tourists
to Greece by Sex and Age



Source: Questionnaire Survey to Japanese Tourists Who have been to Greece, JICA (October 1988)

Table 6.2.1
Distribution of Japanese Overseas Tourists
by Sex and Age

| Classification | Tourists to Greece | Tourists to European countries excl. Greece | Tourists to ASEAN countries | All Japanese Overseas tourists |
|----------------|--------------------|---|-----------------------------|--------------------------------|
| Total | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| Total of men | 42.7 | 36.2 | 63.0 | 52.2 |
| - 19 years | 1.0 | 1.8 | - | 2.5 |
| 20 - 24 | 1.3 | 0.9 | 4.1 | 14.4 |
| 25 - 29 | 11.0 | 6.4 | 16.6 | 12.4 |
| 30 - 39 | 13.0 | 7.3 | 17.1 | 7.9 |
| 40 - 49 | 3.5 | 4.8 | 6.2 | 7.0 |
| 50 - 59 | 6.2 | 6.5 | 11.1 | 8.1 |
| 60 & more | 6.8 | 8.5 | 7.8 | |
| Total of women | 57.3 | 63.8 | 37.0 | 47.8 |
| - 19 years | 1.7 | 2.6 | 0.3 | 2.3 |
| 20 - 29 | 10.6 | 5.5 | 12.4 | 21.4 |
| 25 - 29 | 22.5 | 13.2 | 10.1 | 6.9 |
| 30 - 39 | 6.6 | 10.6 | 4.1 | 5.1 |
| 40 - 49 | 6.1 | 7.9 | 2.8 | 6.2 |
| 50 - 59 | 6.5 | 16.4 | 4.9 | 5.8 |
| 60 & more | 3.4 | 7.8 | 2.3 | |

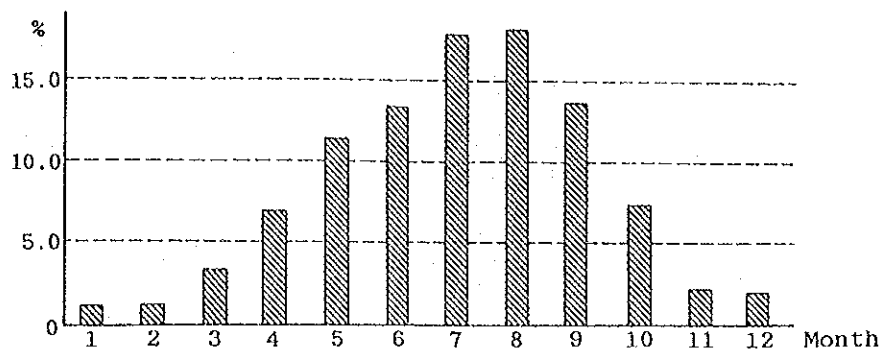
Note: * Estimated from JTB Foundation's "Survey of Overseas on the basis of the statistics of the Immigration Bureau, Ministry of Justice.

- Sources: 1. Questionnaire Survey of Japanese Tourists Who Have Been to Greece, JICA (October 1988)
2. Questionnaire Survey of Japanese Tourists to Other European Countries, JICSA (October 1988)
3. Questionnaire Survey of Japanese Tourists to ASEAN Countries, JICA (October 1988)
4. Survey of Overseas Travelers, JTB Foundation (1987)

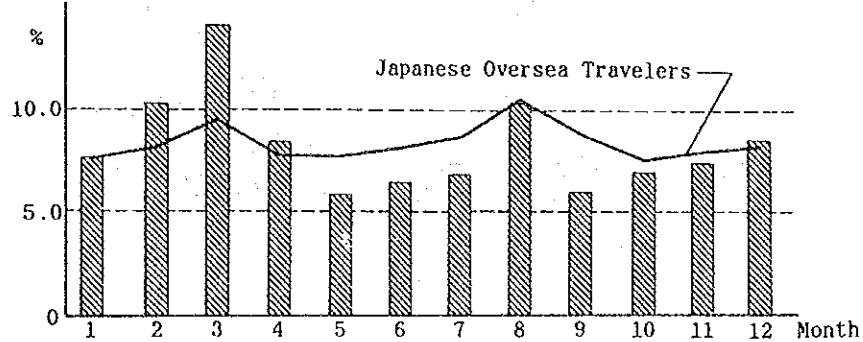
・日本人ギリシャ旅行者の季節変動は、他の外国人ギリシャ旅行者の変動パターンと異った傾向を示している。日本人観光客のピークは2月と3月にあるのに対し、外国人のピークは7月、8月である。（図6.2.2参照）この2月および3月には、新婚旅行者や大学生（女子大生）がかなりのシェアを占めている。

Figure 6.2.2
 Monthly Share of Japanese Tourists to Greece

1) All Foreigners



2) Japanese



Source: GNTQ